

對シ懲戒處分ヲ行ハズト判得其懲戒處分ニ譴責及過意金トス其過意金ハ二十  
五圓以下トス

通テ市吏員ハ懲戒法ヲ設ケ以テ左ノ區別ニ從ヒ官吏懲戒例ヲ適用ス可シ

一 市參事會ノ懲戒處分（第六十四條第二項第五）ニ不服アル者ハ府縣知  
事ニ訴願シ府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ  
得

六 府縣知事ハ懲戒處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

三 本條第二項ニ掲載スル市吏員職務ニ違フコト再三ニ及ビ又ハ其情狀重キ

四者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者ハ財產ヲ浪費シ其分ヲ守ラサル者又ハ職務

ヲ舉ラサル者ハ懲戒裁判ヲ以テ其職ヲ解ケコトヲ得其隨時解職スルコトヲ得

二可成者ハ（第六十三條）懲戒裁判ヲ以テスルノ限ニ在ラス

一 總テ解職セザル者ハ自己ノ所爲ニ非スシテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲

メ解職セラレタル場合ヲ除クノ外退職料ヲ受ケルノ權ヲ失フモノトス

四 懲戒裁判ハ府縣知事其審問ヲ爲シ府縣參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服ア

ル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

市長ノ解職ニ係ル裁決ハ上奏シテ之ヲ執行ス

監督官廳ハ懲戒裁判ノ裁決前吏員ノ停職ヲ命ジ並給料ヲ停止スルコトヲ

得

第二百二十五條 市吏員及使丁其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越テタル事アルカ爲メ

市ニ對シテ賠償ス可キコトアルトキハ府縣參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服ア

ル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ七日以内行政裁判所ニ出

訴スルコトヲ得但出訴ヲ爲シタルトキハ府縣參事會ハ假ニ其財產ヲ差押フル

コトヲ得

第七條 附則 市制 附則

第二百二十六條 此法律ハ明治二十二年四月一日ヨリ地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知

事ノ具申ニ依リ內務大臣指定スル地ニ之ヲ施行ス

市制 附則

五十三

第二百二十七條 府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間府縣參事會ノ職務ハ

府縣知事行政裁判所ノ職務ハ内閣ニ於テ之ヲ行フ可シ

第二百二十八條 此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付市參事會及市會ノ職務并

市條例ヲ以テ定ム可キ事項ハ府縣知事又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス

可シ

第二百二十九條 社寺宗教ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用セシメ現行ノ例規及其地

方習慣ニ從フ

第三百十條 此法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍人ヲ除キ

タル數ヲ云フ

第三百十一條 現行ノ租稅中此法律ニ於テ直接稅又ハ間接稅トス可キ類別ハ内

務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第三百十二條 明治九年十月第百三十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木

起功規則、明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法第四條、明治十七年

五月第十四號布告區町村會法、明治十七年五月第十五號布告、明治十七年七

月第二十三號布告、明治十八年八月第二十五號布告其他此法律ニ牴觸スル成

規ハ此法律施行ノ日ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第三百十三條 內務大臣ハ此法律實行ノ責ニ任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令

ヲ發布ス可シ

此法律中別段ノ規定アルモノヲ除ク外東京市、京都市、大阪市及人口二十

萬以上ノ市ノ區ニ關シ必要ナル一切ノ事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(三十一年

法律第二十號ヲ以テ追加三十三年法律第四十六號ヲ以テ本條中改正)

第一條 凡町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セズ但將來其變更ヲ要スルコト  
 第三條 凡町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セズ但將來其變更ヲ要スルコト  
 第四條 町村ノ廢置分合ヲ要スルトキハ關係アル市町村會及郡縣參事會ノ意見ヲ  
 町村境界ノ變更ヲ要スルトキハ關係アル市町村會及地主ノ意見ヲ聞キ郡縣參事會  
 之ヲ議決ス其數郡ニ涉ル者ハ市ノ境界ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ議決  
 市制町村制 町村制 總則

町村制

第一章 總則

第一條 此法律ハ市制ヲ施行スル地ヲ除キ總テ町村ニ施行シテ之ヲ施行スル地  
 第二條 町村ハ法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡町村公共ノ事務  
 ハ官ノ監督ヲ受ケテ自治之ヲ處理スルモノトス

市制町村制 町村制 總則

町村ノ資力法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪ヘス又ハ公益上ノ必要アルトキハ關係者ノ異議ニ拘ハラス町村ヲ合併シ又ハ其境界ヲ變更スルコトアル可シ本條ノ處分ニ付其町村ノ財產處分ヲ要スルモトキハ併セテ之ヲ議決ス可シ

第五條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ郡參事會之ヲ裁決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴ス

第三款 町村住民及其權利義務

第六條 凡町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其町村住民トス凡町村住民タル者ハ此法律ニ從ヒ公共ノ營造物並町村有財產ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及町村ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス但特ニ民法上ノ權利及義務ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

第七條 凡帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)町村ノ住民

トナリ(二)其町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)其町村内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者ハ其町村公民トス其公費ヲ以テ救助ヲ受ルコトヲ得ル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス但場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムル二箇年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

此法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十歲以上ニシテ一月ヲ構ヘ且治産ヲ禁テ受テサル者ヲ云フ

第八條 凡町村公民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セラル、ノ權利ヲ又其名譽職ヲ擔任スルハ町村公民ノ義務ナリ且テ其職務ヲ行シ得ルハ左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒絶シ又ハ任期中退職スルコトヲ得

- 一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
- 二 營業ヲ爲メニ常ニ其町村内ニ居ルコトヲ得サル者
- 三 年滿六十歲以上ノ者
- 四 官職ヲ爲メニ町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

市制町村制 町村制 總則 五十九

五 四年間無給ニシテ町村吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間町村議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者

六 其他町村會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリテ認ムル者

前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ若クハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當セス又ハ其職務ヲ實際ニ執行セザル者ハ町村會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其町村公民タルノ權ヲ停止シ且同年期間其負擔ス可キ町村費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得、  
前項町村會ノ議決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九條 町村公民タル者第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フ者ハ其公民タルノ權ヲ失フコトヲ得、  
町村公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中其公民タルノ權ヲ停止ス家

資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキハ其裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ハ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレ被服下等兵亦同シ  
町村公民タル者ニ限リテ任ズ可キ職務ニ在ル者ハ本條第三項乃至第三項ノ場合ニ當ルトキ然ラバ解職スルモノトス職ニ就キタルカ爲メ公民タルノ權ヲ得可キ職務ニ在ル者ニシテ本條第二項第三項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

前項ノ職務ニ在ル町村吏員ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其職ヲ停止スルコトヲ得、  
八年法律第七號ヲ以テ本條改正

第三款 町村條例

第十條 町村ノ事務及町村住民ノ權利義務ニ關シ此法律中ニ明文ナク又ハ特例

市制町村制 町村制 總則

町村ニ於テハ其町村ノ設置ニ係ル營造物ニ關シ規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ズ且之ヲ發行スルトキハ地方  
價行ノ公告式ニ依ル可シ

第二章 町村會

第一節 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其町村ノ選舉人其被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其定  
員ハ其町村ノ人口ニ準シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム但町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ  
増減スルコトヲ得

一 人口千五百未満ノ町村ニ於テハ

議員八人

二 人口千五百以上正五千未満ノ町村ニ於テハ

議員十二人

三 人口五千以上一萬未満ノ町村ニ於テハ

議員十八人

一 人口一萬以上二萬未満ノ町村ニ於テハ

議員二十四人

二 人口二萬以上ノ町村ニ於テハ

議員三十人

第十二條 町村公民(第七條)ハ總テ選舉權ヲ有ス但其公民權ヲ停止セラル  
者(第八條第三項)第九條第三項)及第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此限ニ  
在ラズ(二十八年法律第七號ヲ以テ本條中改正)

凡内國人ニシテ公權ヲ有シ直接町村稅ヲ納ムル者其額町村公民ノ最多ク納稅  
スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラス雖モ選舉權ヲ  
有ス但公民權ヲ停止セラル者及第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此限ニ在ラ

法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

第十三條 選舉人ハ分テ三級ト爲ス

選舉人中直接町村稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當  
ル可キ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人ヲ二級トス

市制町村制 町村制 町村會

一級三級ノ間納税額兩級ニ跨ル者アルモキハ一級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納税者二名以上アルモキハ其町村内ニ住居スル年數多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年齢ヲ以テシ年齢ニモ依リ難キトキハ町村長抽籤ヲ以テ之ヲ定ム可シ人々ノ間ニ選入ル者ニ當テハ其町村會ニ依リ

選舉人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス兩級ニ通テ選舉セラルコトヲ得其或モ其級ニ選入ル者ニ當テハ其級内ノ者ニ限ラス第十四條ニ特別ノ事情アリテ前條ノ例ニ依リ難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ別ニ選舉ノ特別ノ設ケルコトヲ得得得得得得得得得得得得得得得得得得得得得得

第十五條 選舉權ヲ有スル町村公民(第十二條第二項)ハ總テ被選舉權ヲ有ス左ニ掲グル者ハ町村會議員タルコトヲ得ス其級ニ選入ル者ニ當テハ其級内ノ者ニ限ラス第十二條所屬郡縣郡ノ官吏(十二條)ハ其級ニ選入ル者ニ當テハ其級内ノ者ニ限ラス 一 有給之町村吏員(十二條)ニ當テハ其級内ノ者ニ限ラス 二 有給之町村吏員(十二條)ニ當テハ其級内ノ者ニ限ラス 三 檢察官及警察官吏(十二條)ニ當テハ其級内ノ者ニ限ラス

- 四 神官僧侶及其他諸宗教師
- 五 小學校教員

其他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ其所屬長官ノ許可ヲ受ク可シ其代理人ニ非スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ハ議員ニ選舉セララルコトヲ得ス其級ニ選入ル者ニ當テハ其級内ノ者ニ限ラス 父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナルハ年長者ヲ當選トス其時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス 町村長若クハ助役トノ間父子兄弟タルノ緣故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若シ議員トノ間ニ其緣故アル者町村長若クハ助役ニ選舉セラレタルコトヲ受ケルコトキハ其緣故アル議員ハ其職ヲ退ク可シ其級ニ選入ル者ニ當テハ其級内ノ者ニ限ラス

第十六條 議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回

市制町村制 町村制 町村會 六十五





第二十二條 選舉ノ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名ヲ記シ封緘  
シテ選舉人自ラ掛長ニ差出ス可シ但選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得  
ス

選舉人投票ヲ差出ス下キハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名  
簿ニ照シテ之ヲ受テ封緘シ備投票函ニ投入ス可シ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之  
ヲ開クコトヲ得ス

第二十三條 投票ニ記載ノ人員其選舉ス可キ定數ニ過キ又ハ不足ナルモ其投票  
ヲ無効トセシ其定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却ス可  
ク

- 一 投票ノ之ヲ無効トス
- 二 人名ヲ記載セズ又ハ記載セル人名ノ讀ミ難キモノ
- 三 被選舉人ノ何人ノハカ確認シ難キモノ
- 四 被選舉權ナキ人名ヲ記載スルモノ

四 被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ  
投票ノ受理並ニ效力ニ關スル事項ハ選舉掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナル下キ  
ハ掛長之ヲ決ス

第二十四條 選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フ可シ他人ニ託シテ投票ヲ差出ス可トシ  
許サズ  
第十二條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得  
若シ其獨立シ男子ニ非サズ者或ハ會社其他法人ニ係ル下キハ必ズ代人ヲ以テ  
シ可シ其代人ハ内國人ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ限ル但一人ニシテ數  
人ヲ代理ス可トシ且代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示シテ代理ヲ證下ス可  
ク

第二十五條 町村ノ區域廣瀾ナル者又ハ人口稠密ナルトキハ町村會ハ議決シ  
依テ區域ヲ定メテ選舉分會ヲ設ケルコトヲ得但特ニ二級選舉人ノミ此分會ヲ  
設ケルハ妨グナシ  
市制町村制 町村制 町村會

分會ノ選舉掛ハ町村長ノ選任シタル代理者ヲ以テ其長トシ第二十條ノ例ニ依

リ掛員三名若クハ四名ヲ選任スルニ依リ其長トシ第二十條ノ例ニ依

リ選舉分會ニ於テ爲シ得ル投票ハ投票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總務以

テ當選ヲ定ム

選舉分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開ク可シ其他選舉以手續會場ヲ取締等總テ本

會ノ例ニ依リハ内國人ニマテハ公斷ヤ官ニテ立入ルニ期ハ同一人ニマテ

第三十六條ノ職員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トシ投票ノ數相

同キモ公年長者ヲ取リ同年ナクハ掛長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

同時ニ補副員數名ヲ選舉スルトキハ(第十七條)投票數ノ最多キ者ヲ以テ殘

任任期最長者前任者ノ補副ト爲シ其數相向キトキハ抽籤シテ其順序ヲ定

ム

第三十七條 選舉掛ハ選舉録ヲ製シテ選舉ノ願未ダ記録シ選舉ヲ終ル後之

ヲ期讀シ選舉人名簿其他關係書類ヲ合設シテ之ニ署名ス可シ

投票ハ之ヲ選舉録ニ附屬シ選舉ヲ結スルニ至ル迄之ヲ保存ス可シ

第二十八條 選舉ヲ終リタル後選舉掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可

シ其當選ヲ辭スントスル者ハ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立シ可シ

一人ニシテ兩級ノ選舉ニ當ル者ハ下キハ同期限内何レノ選舉ニ應ス可キコト

業ヲ申立可シ其期限内ニ之ヲ申立テサレ者ハ總テ其選舉ヲ辭スル者トナシ第

八條ノ處分ヲ爲ス可シ

第三十九條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願ヲシトスルトキハ選舉ノ日ヨリ七

日以内ニ之ヲ町村長ニ申立シ可シ

町村長ハ選舉ヲ終ル後之ヲ郡長ニ報告シ郡長ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異

議アリトキハ訴願ノ有無ニ拘ラズ郡參事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得

當選舉ノ定規ニ違背スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消シ又被選舉人申其資格

要件ヲ有セザル者アルトキハ其人ノ當選ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシム可シ

第三十條 當選者中其資格ノ要件ヲ有セザル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其

市制町村制 町村制 町村會

七十一

要件ヲ失フ者アリキ其次に當選ニ效力ヲ失フモノトシ其要件ノ有無ハ町

村會之ヲ議決スル者ニ依リ其人ノ當選ニ效力ヲ失フモノトシ其要件ノ有無ハ町

第三十二條 小町村ニ於テハ郡參事會ノ議決ヲ經町村條例ヲ規定ニ依リ町村會

ヲ設クス選舉權ヲ有スル町村公民ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第三十三條 町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事件並從前

特ニ委任セラルル又將來法律勅令ニ依テ委任セラルル事件ヲ議決スルモノト

第三十三條 町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事件並從前

特ニ委任セラルル又將來法律勅令ニ依テ委任セラルル事件ヲ議決スルモノト

第三十三條 町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事件並從前

特ニ委任セラルル又將來法律勅令ニ依テ委任セラルル事件ヲ議決スルモノト

第三十三條 町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事件並從前

特ニ委任セラルル又將來法律勅令ニ依テ委任セラルル事件ヲ議決スルモノト

第三十三條 町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事件並從前

特ニ委任セラルル又將來法律勅令ニ依テ委任セラルル事件ヲ議決スルモノト

四 決算報告ヲ認定スル事

第五條 法律勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、町村税及夫役現品ノ

賦課徴收ノ法ヲ定ムル事ハ其町村會ノ議決ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會

ハ町村有不動産ノ賣買交換讓受讓渡並賃入等爲テ事ハ其町村會ノ議決ニ依

リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

ニ依リ之ヲ行フモノトシ其町村會ハ町村基本財産ノ處分ニ關スル事ハ其町村會ノ議決

市制町村制 町村制 町村會

町村會之事務之管理以議決之施行並收支出入之正否ヲ監督之此其職權有

第三十六條 町村會之官廳之附屬物ニキハ意見ヲ陳述ス可シ

第三十七條 町村住民及公民タル權利ノ有無、選舉權及被選舉權ノ有無、選舉人名簿以正否並其等級之當否ヲ代理ヲ以テ執行スル選舉權(第十二條第二項)及町村會議員選舉ノ效力(第二十九條)ニ關スル訴願ハ町村會之ヲ裁決ス

前項之訴願中町村住民及公民タル權利ノ有無並選舉權ノ有無ニ關スル附屬物町村會之裁決ヲキ町村ニ於テハ町村長之ヲ裁決ス

町村會若シテ町村長之裁決ニ不服スル者ハ其郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服スル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會之裁決ニ不服スル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得

第三十八條 凡議員タル者ハ選舉入ノ指示若シテ委嘱ヲ受テ可ラサルニ付

第三十九條 町村會ハ町村長ヲ以テ其議長トス若シ町村長故障アルトキハ其代理者即町村助役ヲ以テ之ニ充ツ

第四十條 町村會議員事件議長及其父母兄弟若クハ妻子ノ身上ニ關スル事件ハ議長代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ年長ノ議員ヲ以テ議長ト爲ス可シ

第四十二條 町村會ハ會議ノ必要アル毎會議長之ヲ招集ス若シ議員四分一以

市制 町村制 町村會

第四十三條 町村會ハ議員半數以上出席シ其非出席議員決議セザル事ヲ得ズ但  
第四十四條 町村會ハ議員半數以上出席シ其非出席議員決議セザル事ヲ得ズ但  
第四十五條 議員ハ自己及其父母兄弟者クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テ

第四十六條 町村會ニ於テ町村吏員ノ選舉法行フト其一名毎ニ匿名投票ヲ  
以テ之ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得ル  
者ナキトキハ最多數ヲ得ル者ニ名ヲ取リ之ニ就テ更ニ投票セシメ若シ最多數

第四十七條 町村會ハ會議ハ公開ス但議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ  
得

第四十八條 議長ハ各議員ニ事務ヲ分課シ會議及選舉ノ事ヲ總理シ開會閉會並  
延會ヲ命シ議場ノ秩序ヲ保持ス若シ傍聽者ノ公然贊成又ハ擯斥ヲ表シ又ハ喧  
擾ヲ起ス者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退出セシムルコトヲ得

第四十九條 町村會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シテ其議決及選舉ノ顛末並出席議  
員姓名ヲ記錄セシムルコトヲ得

第五十條 町村會ノ書記ハ議長ノ委任ニ依リ之ヲ充テシメ其職務ヲ行フ

第五十一條 町村會ノ書記ハ議長ノ委任ニ依リ之ヲ充テシメ其職務ヲ行フ

第五十二條 町村會ノ書記ハ議長ノ委任ニ依リ之ヲ充テシメ其職務ヲ行フ

第五十三條 町村會ノ書記ハ議長ノ委任ニ依リ之ヲ充テシメ其職務ヲ行フ

第五十四條 町村會ノ書記ハ議長ノ委任ニ依リ之ヲ充テシメ其職務ヲ行フ

第五十五條 町村會ノ書記ハ議長ノ委任ニ依リ之ヲ充テシメ其職務ヲ行フ

第五十六條 町村會ノ書記ハ議長ノ委任ニ依リ之ヲ充テシメ其職務ヲ行フ

第五十七條 町村會ノ書記ハ議長ノ委任ニ依リ之ヲ充テシメ其職務ヲ行フ

第五十條 町村會の其會議細則ヲ設ク可シ其細則ニ違背シタル議員ニ科ス可キ  
過意金三圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第五十一條 第三十二條ヨリ第四十九條ニ至ルノ規定ハ之ヲ町村總會ニ適用  
スルコトヲ得

第三章 町村行政  
第一節 町村吏員ノ組織選任  
第五十二條 町村長及助役ハ町村會ニ於テ其町村公民中年齡滿三十歲以上ニシ  
テ選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

第五十三條 町村長及助役ハ町村會ニ於テ其町村公民中年齡滿三十歲以上ニシ  
テ選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

第五十四條 町村長及助役ノ任期ハ四年トス  
町村長及助役ノ選舉ハ第四十六條ニ依テ行フ可シ但投票同數ナルトキハ抽籤  
ノ法ニ依テ之ヲ選舉スルコトヲ得

第五十五條 町村長及助役ハ各職ニ於テ第五十六條ノ有給町村長及有給助役  
ノ制限ニ在リテ其職務ヲ行フ可シ但第五十六條ノ有給町村長及有給助役  
ハ町村長ノ職務取扱ノ爲メニ要スル經費負擔ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ受クル  
コトヲ得

第五十六條 町村長及助役ノ職務取扱ノ爲メニ要スル經費負擔ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ受クル  
コトヲ得

第五十七條 町村ノ情況ニ依リ町村條例ノ規定ヲ以テ町村長ニ給料ヲ給スルコ  
トヲ得又夫レ町村ニ於テハ町村條例ノ規定ヲ以テ助役一名ヲ有給吏員ト爲  
シ之ヲ得

有給町村長及有給助役ハ其町村公民タル者ニ限ラス但當選ニ應ジ認可ヲ得ル  
市制町村制 町村制 町村行政

第五十七條 有給町村長及有給助役ハ三箇月前ニ申立ツルトキハ隨時退職ヲ求

第五十八條 有給町村長及有給助役ハ他ノ有給ノ職務ヲ兼任シ又ハ株式會社ノ

社長及重役トナルコトヲ得ス其他ノ營業ハ郡長ノ認許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ

第五十九條 町村長及助役ノ選舉ハ府縣知事ノ認許ヲ受テ可シ

第六十條 府縣知事前條ノ認許ヲ與ヘサルトキハ府縣參事會ノ意見ヲ聞クコト

第六十一條 町村長及助役ノ選舉其認許ヲ得サルトキハ再選舉ヲ爲ス可シ

再選舉ニシテ猶其認許ヲ得サルトキハ追テ選舉ヲ行ヒ認許ヲ得ルニ至ルノ間

認許ノ權アル監督官廳ハ臨時ニ代理者ヲ選任シ又ハ町村費ヲ以テ官吏ヲ派遣

第六十二條 町村ニ收入役一名ヲ置ク收入役ハ町村長ヲ推薦ニ依リ町村會之ヲ

收入役ハ有給吏員ト爲シ其任期ハ四年トス

收入役ハ町村長及助役ヲ兼ズルコトヲ得ス其他第五十六條第二項、第五十七

條及第七十六條ヲ適用ス

收入役ヲ選任ハ郡長ノ認許ヲ受ク可シ若シ認許ヲ與ヘサルトキハ郡參事會ノ

意見ヲ聞クコトヲ要ス郡參事會之ニ同意セサルモ猶郡長ニ於テ認許ヲ可カラ

第六十一條ヲ適用ス

郡長ノ不認許ニ對シ町村長又町村會ニ於テ不服アルトキハ府縣知事ニ具申シ

市制町村制 町村制 町村行政

予認可ヲ請フコトヲ得

収入支出ノ寡少ナル町村ニ於テハ郡長ノ許可ヲ得テ町村長又ハ助役ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十三條 町村ニ書記其他必要ノ附屬員並使丁ヲ置キ相當ノ給料ヲ給ス其人員ハ町村會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム但町村長ニ相當ノ書記料ヲ給與シテ書記ノ事務ヲ委任スルコトヲ得

町村附屬員ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任シ使丁ハ町村長之ヲ任用スルコトヲ得

第六十四條 町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ處務便宜ノ爲メ町村會ノ議決ニ依リ之ヲ數區ニ分チ每區區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得區長及其代理者ハ名譽職トス

區長及其代理者ハ町村會ニ於テ其町村ノ公民中選舉權ヲ有スル者自ラ之ヲ選舉ス區會(第百十四條)ヲ設ケル區ニ於テ其區會ニ於テ之ヲ選舉ス

第六十五條 町村ハ町村會ノ議決ニ依リ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得其委員ハ名譽職トス

委員ハ町村會ニ於テ町村會議員又ハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ選舉シ町村長又ハ其委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ委員長トス

常設委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第六十六條 區長及委員ニハ職務取扱ノ爲メ必要ナル實費辨償ノ外町村會ノ議決ニ依リ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

第六十七條 町村吏員ハ任期滿限ノ後再選セラルルコトヲ得

町村吏員及使丁ハ別段ノ規定又ハ規約アルモシテ除ク外隨時解職スルコトヲ得

第二款 町村吏員ノ職務權限

第六十八條 町村長ハ其町村ヲ統轄シ其行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

市制町村制 町村制 町村行政



- 一 町村會ノ議事ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事若シ町村會ノ議決其權限ヲ越テ法律命令ニ背キ又ハ公衆ノ利益ヲ害スルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ郡參事會ノ議決ヲ請フ可シ其權限ヲ越テ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ議決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 二 町村ノ設置ニ係ル營造物ヲ管理スル事若シ特ニ之カ管理者アルトキハ其事務ヲ監督スル事
- 三 町村ノ歲入ヲ管理シ歲入出豫算表其他町村會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事
- 四 町村ノ權利ヲ保護シ町村有ノ財産ヲ管理スル事
- 五 町村吏員及使丁ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フ事其懲戒處分ハ罰金及五圓以下ノ過怠金トス

- 六 町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事
  - 七 外部ニ對シテ町村ヲ代表シ町村ノ名義ヲ以テ其訴訟並和解ニ關シ又ハ他廳若クハ人民ト商議スル事
  - 八 法律勅令ニ依リ又ハ町村會ノ議決ニ從テ使用料、手数料、町村税及夫役等ノ現品ヲ賦課徵收スル事
  - 九 其他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事
- 第六十九條 町村長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス
- 一 司法警察補助官タルハ職務及法律命令ニ依テ其管理ニ關スル地方警察ノ事務但別ニ官署ヲ設ケテ地方警察事務ヲ管掌セシムルトキハ此限ニ在ラズ
  - 二 浦役場ノ事務
  - 三 國ノ行政並府縣郡ノ行政ニシテ町村ニ關スル事務但別ニ吏員ノ設ケアル市制町村制 町村制 町村行政

トキハ此限ニ在ラズニテ、右三項中ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲メニ要スル費用ハ町村ノ負擔トス

第七十條 町村助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ町村會ノ同意ヲ得テ助役ヲシテ町村行政事務ノ一部ヲ分掌セシムル

コトヲ得

助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數名アルトキハ上席者之ヲ代理ス

可シ

第七十一條 町村收入役ハ町村ノ收入ヲ受領シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事

務ヲ掌ル

第七十二條 書記ハ町村長ニ屬シ庶務ヲ分掌ス

第七十三條 區長及其代理者ハ町村長ノ機關トシテ其指揮命令ヲ受ケテ區内ニ

關スル町村長ノ事務ヲ補助執行スルモノトス

第七十四條 委員(第六十五條)ハ町村行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ營造物ヲ

管理シ若クハ監督シ又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處辨スルモノトス

委員長ハ委員ノ議決ニ加ハルノ權ヲ有ス助役ヲ以テ委員長ト爲ス場合ニ於テ

モ町村長ハ隨時委員會ニ出席シテ其委員長ト爲リ並其議決ニ加ハルノ權ヲ有

ス

常設委員ノ職務權限ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ

得

第三款 給料及給與

第七十五條 名譽職員ハ此法律中別ニ規定アルモノヲ除クノ外職務取扱ノ爲メ

ニ要スル實費ノ辨償ヲ受ケルコトヲ得

實費辨償額、報酬額及書記料ノ額(第六十三條第一項)ハ町村會之ヲ議決ス

第七十六條 有給町村長有給助役其他有給吏員及使丁ノ給料額ハ町村會ノ議決

ヲ以テ之ヲ定ム

市制町村制 町村制 町村行政

町村會入議決ヲ以テ町村長及助役ノ給料額ヲ定ムルトキハ郡長ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス郡長ハ於テ之ヲ許可ス可カラズト認ムルトキハ郡參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定ス

第七十七條 町村條例ノ規定ヲ以テ有給吏員ノ退職料ヲ設ケルコトヲ得

第七十八條 有給吏員ノ給料、退職料其他第七十五條ニ定ムル給與ニ關シテ異議アルトキハ關係者ノ申立ニ依リ郡參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十九條 退職料ヲ受ケル者官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受ケルトキハ其間之ヲ停止シ又ハ更ニ退職料ヲ受ケル以テ權利ヲ得ルトキハ其額舊退職料ノ同額以上ナルトキハ舊退職料ハ之ヲ廢止ス

第八十條 給料、退職料、報酬及養費等ハ總テ町村ノ負擔トス

第四章 町村有財産ノ管理

第一款 町村有財産及町村税

第八十一條 町村ハ其不動産、積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スルヲ義務アリ

臨時ニ收入シタル金穀ハ基本財産ニ加入ス可シ但寄附金等寄附者其使用ノ目的ヲ定ムルモクハ此限ニ在ラズ

第八十二條 凡町村有財産ハ全町村ノ爲メニ之ヲ管理シ及共用スルモノトシ但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラズ

第八十三條 從來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ其町村有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ町村會ノ議決ヲ經ルニ非ザレバ其舊慣ヲ改メ

得トシ得ス

第八十四條 町村住民中特ニ其町村有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ得ントスル者アルトキハ町村條例ノ規定ニ依リ使用料若クハ臨時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ

使用料加入金ヲ共ニ徵收シテ之ヲ許可スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利

市制町村制 町村制 町村有財産ノ管理

八十九

有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十五條 使用權ヲ有スル者(第八十三條第八十四條)ハ使用ノ多寡ニ準シテ其土地物件ニ係ル必要ナル費用ヲ分擔ス可キモノトス

第八十六條 町村會ハ町村ノ爲メニ必要ナル場合ニ於テハ使用權(第八十三條 第八十四條)ヲ取上ケ又ハ制限スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十七條 町村有財産ノ賣却貸與又ハ建築工事及物品調達ノ請負ハ公ケノ入札ニ付ス可シ但臨時急施ヲ要スルトキ及入札ノ價額其費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ認許ヲ得ルトキハ此限ニ在ラス

第八十八條 町村ハ其必要ナル支出及従前法律命令ニ依テ賦課セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ賦課セラルト支出ヲ負擔スルノ義務アリ

町村ハ其財産ヨリ生スル收入及使用料、手数料(第八十九條)並科料、過意金其他法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ猶不足アル

トキハ町村税(第九十條)及夫役現品(第一百一條)ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第八十九條 町村ハ其所有物及營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ數個人ヲ爲メニスル事業ニ付使用料又ハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第九十條 町村税トシテ賦課スルモノトシテ得可キ目左ノ如シ

- 一 國稅府縣稅ノ附加稅
- 二 直接又ハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ町村ノ全部ヨリ徴收スルヲ常例トシ特別稅ハ附加稅ノ外別ニ町村限リ稅目ヲ起シテ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課徴收スルモノトス

第九十一條 此法律ニ規定セル條項ヲ除クノ外使用料、手数料(第八十九條)

特別稅(第九十條第一項第二)及従前ノ町村費ニ關スル細則ハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定ス可シ其條例ニハ科料一圓九十五錢以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ

市制町村制 町村制 町村有財産ノ管理 九十一

得三、其後十四日以内三司法裁判所ニ申訴スルコトヲ得ル者ハ其申訴ノ後八十五日

料料ニ處シ及之ヲ徴收スルハ町村長之ヲ等シ其處分ニ不服アル者ハ余狀交付

第九十二條 三箇月以上町村内ニ滞在スル者ハ其町村税ヲ納ムルモノトス但其

課税ニ滞リ初ニ遡リ徴收ス可シ長假ニ町村長ニ對シテ其滞リノ原因ヲ説明スル

第九十三條 町村内ニ住居ヲ構ヘス又ハ三箇月以上滞在スル者ハ其町村税ヲ納ムルモノトス雖モ町

村内ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲ス者ハ店舖ヲ定メサル行商ヲ除クハ

其土地家屋營業者クハ其所得ニ對シテ賦課スル町村税ヲ納ムルモノトス其法

人タルトモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

第九十四條 所得稅ニ附加稅ヲ賦課シ及町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課セント

スル下キハ納稅者ノ町村外ニ於テ所有スル土地家屋又ハ營業ハ店舖ヲ定メサ

ル行商ヲ除クヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除ス可キモノトス

第九十五條 數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滞在スル者ニ前條ノ町村税ヲ賦課スル

トキハ其所得ヲ各市町村ニ平分シ其一部分ニノミ課税ス可シ但土地家屋又ハ

營業ヨリ收入スル所得ハ此限ニ在ラス

第九十六條 所得稅法第三條ニ掲クル所得ハ町村税ヲ免除ス

第九十七條 左ニ掲クル物件ハ町村税ヲ免除ス 一、美濃寺工ニ關スル營業者

第一、政府、府縣郡市町村及公共組合ニ屬シ直接ノ公用ニ供スル土地、營造物

及家屋 二、三、社寺及官立公立ノ學校病院其他學藝、美術及慈善ノ用ニ供スル土地、營

造物及家屋 四、官有ノ山林又ハ荒蕪地但官有山林又ハ荒蕪地ノ利益ニ係ル事業ヲ起シ内

務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ其費用ヲ徴收スルハ此限ニ在ラス

新開地及開墾地ハ町村條例ニ依リ年月ヲ限リ免稅スルコトヲ得

第九十八條 前二條ノ外町村税ヲ免除ス可キモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所

ニ從フ皇族ニ係ル町村税ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムル迄現今ノ例ニ依

市制町村制 町村制 町村有財産ノ管理 九十三

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ

費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

町村内ノ一部ニ於テ專ラ使用スル營造物アルトキハ其部内ニ住居シ若クハ滞在シ又ハ土地家屋ヲ所有シ營業(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヲ爲ス者ニ於テ其修築及保存ノ費用ヲ負擔ス可シ但其一部ノ所有財産アルトキハ其收入ヲ以テ先ツ其費用ニ充ツ可シ

第一百條 (三十三年法律第四十七號ヲ以テ削除)

第一百條 町村公共ノ事業ヲ起シ又ハ公共ノ安寧ヲ維持スルカ爲メニ夫役及現品ヲ以テ納稅者ニ賦課スルコトヲ得但學藝、美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得

夫役ヲ課セラレタル者ハ其便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又急迫ノ場合ヲ除クノ外金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第一百二條 町村ニ於テ徵收スル使用料、手数料(第八十九條)町村稅(第九十條)夫役ニ代フル金圓(第一百一條)共有物使用料及加入金(第八十四條)其他町村ノ收入ヲ定期内ニ納メサルトキハ町村長ハ之ヲ督促シ猶之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收ス可シ其督促ヲ爲スニハ町村條例ノ

規定ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

納稅者中無資力ナル者アルトキハ町村長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限り納稅

延期ヲ許スコトヲ得其年度ヲ越スル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵、期滿得免及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル規

則ヲ適用ス

第一百三條 地租ノ附加稅ハ地租ノ納稅者ニ賦課シ其他土地ニ對シテ賦課スル町村稅ハ其所有者又ハ使用者ニ賦課スルコトヲ得

市制町村制 町村制 町村有財産ノ管理

第四百四條 町村税ノ賦課ニ對スル訴願ハ賦課令狀ノ交付後三箇月以内ニ之ヲ町  
村長ニ申立シ可シ此期限ヲ經過スルキハ其年度内減稅免稅及償還ヲ請求ス  
ルノ權利ヲ失フモノトス

第四百五條 町村税ノ賦課及町村ノ營造物ハ町村有ク財產並其所得ヲ使用スル權  
利ニ關スル訴願ハ町村長之ヲ裁決ス但民法上ノ權利ニ係ルモ若クハ此限ニ在ラ  
ズ前項ノ裁決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者  
ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴  
スルコトヲ得

第四百六條 町村ニ於テ公債ヲ募集スルハ從前ノ公債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天  
災時變等已ムヲ得サル支出若クハ町村永久ノ利益トナル可キ支出ヲ要スルニ  
方リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ其町村住民ノ負擔ニ堪ヘサルハ場合ニ限ル

町村會ニ於テ公債募集ノ事ヲ議決スルトキハ併セテ其募集ノ方法、利息ノ定  
率及償還ノ方法ヲ定ム可シ償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々償還ノ歩合ヲ定  
メ募集ノ時ヨリ三十年以内ニ還了ス可シトシ猶ニ至ラズニ償還スル者ハ其  
定額豫算内ノ支出ヲ爲スガ爲メ必要ナル時ニ借入金ハ本條ノ例ニ依ラズ其  
年度内ノ歳入ヲ以テ償還ス可キ筈トスルハ其例ニ依ラズ  
第二百七條 町村ノ歳入出豫算及決算ハ町村會計年度ニ依リ  
第二百八條 町村長ハ每會計年度歳入支出豫算知シ得可キ金額ヲ見積リ年度前  
三箇月ヲ限リ歳入出豫算表ヲ調製ス可シ但町村會計年度ハ政府ノ會計年度ニ  
同ク出

内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算表調製ノ式ヲ定ムルコトヲ得  
第二百九條 豫算表ハ會計年度前町村會ノ議決ヲ取り之ヲ郡長ニ報告シ並地方慣  
行ノ方式ヲ以テ其要領ヲ公告ス可シ  
市制町村制 町村制 町村有財產ノ管理 九十七

豫算表ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ其町村事務報告書及財産明細表ヲ提出ス可シ  
 第九條 定額豫算外ノ費用又ハ豫算之不足アルトキハ町村會ノ認定ヲ得テ之ヲ支出スルコトヲ得

定額豫算中臨時ノ場合ニ支出スルカ爲メニ豫備費ヲ置キ町村長ハ豫算町村會ノ認定ヲ受ケスシテ豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費用ヲ充ツルコトヲ得但町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第十條 町村會ニ於テ豫算表ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其騰寫ヲ以テ之ヲ收入役ニ交付ス可シ其豫算表中監督官廳若クハ參事會ニ許可ヲ受ケ可キ事項アルトキハ(第九條第五條及第九十七條ニ至ル)先ツ其許可ヲ受ケ可シ又監督官廳ニ於テ豫算表ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其騰寫ヲ以テ之ヲ收入役ハ町村長ハ第六十八條第三項第三)又ハ監督官廳ニ命令受ケルモ其支出豫算表中ハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又收入役ハ町村長ノ命令ヲ受ケルモ其支出豫算表中

ニ豫定ナキカ又ハ其命令第九條ノ規定ニ依リサカキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第十六條 町村ハ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少シ甲一回臨時検査ヲ爲スコシ例月検査ハ町村長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時検査ハ町村長又ハ其代理者以外町村會ハ互選シタル議員一名以上以テ立會ヲ要ス

第十二條 決算ハ會計年度ノ終ヨリ三箇月以内ニ之ヲ結成シ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出シ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ之ヲ町村會ノ認定ニ付テ可シ第六十二條第五項ノ場合ニ於テ前例ニ依リ町村長ヨリ直ニ之ヲ町村會ニ提出ス可シ其町村會ノ認定ヲ經タルハ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス可シ

第十三條 決算報告ヲ爲ストキハ第四十條ノ例ニ準シ議長代理者共ニ故障アルモトス

市制町村制 町村制 町村有財産ノ管理



第五章 町村內各部ノ行政

第百十四條 町村內ノ區（第六十四條）又ハ町村內ノ一部若クハ合併町村（第四條）ニシテ別ニ其區域ヲ存シテ一區ヲ爲スモノ特別ニ財產ヲ所有シ若クハ營造物ヲ設ケ其ニ區限リ特ニ其費用（第九十九條）ヲ負擔スルハ郡參事會ハ其町村會以意見ヲ聞キ條例ヲ發行シ財產及營造物ニ關スル事務ヲ爲シ區會又ハ區總會ヲ設ケルコトヲ得其會議ハ町村會ノ例ヲ適用スルコトヲ得

第百十五條 前條ニ記載スル事務ハ町村以行政ニ關スル規則ニ依リ町村長之ヲ管理シ可シ但區ノ出納及會計ノ事務ハ之ヲ分別シ可シ

第百十六條 數町村以事務ヲ共同處分スル爲メ其協議ニ依リ監督官廳ノ許可ヲ得テ其町村ノ組合ヲ設ケルコトヲ得人對シテ其法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪フ可キ資力ヲ有セサル町村ニシテ他ノ町村ト合併（第四條）スルハ協議整ハヌ又ハ其事情ニ依リ合併ヲ不便ト爲ストキハ郡

參事會ノ議決ヲ以テ數町村ノ組合ヲ設ケシムルコトヲ得

第百十七條 町村組合ヲ設ケルノ協議ヲ爲ストキハ（第百十六條第一項）組合會議ノ組織ニ事務ノ管理方法並其費用ノ支辨方法ヲ併セテ規定シ可シ

前條第三項ニ於テハ其關係町村ニ協議ヲ以テ組合費用ノ分擔法等其他必要ノ事項ヲ規定シ可シ若シ其協議整ハサルトキハ郡參事會ニ於テ之ヲ定ム可シ

第百十八條 町村組合ニ監督官廳ノ許可ヲ得ルニ非サルニテ之ヲ解散シ得

第七條 町村行政ニ監督

第百十九條 町村ノ行政ニ於テ郡長之ヲ監督シ第三次ニ於テ府縣知事

郡參事會及府縣參事會ノ參與スルハ別段ナリトス

町村ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スルキ事項中其輕易ナルモノハ勅令ニ

市制町村制 町村制 町村內各部ノ行政 町村組合 百一

規定ニ依リ其許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スル由ヲ得ル三十二年法律第四十七號ヲ以テ本項追加)

第二百十條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外凡町村ノ行政ニ關スル郡長若クハ郡參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事若クハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

町村ノ行政ニ關スル訴願ハ處分書若クハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出ス可シ但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラズ其罰則並ニ其罰則ニ關スル事項ハ別段ノ規定アルニ從フ此法律中ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者行政裁判所ニ出訴セシムル者裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴ス可シ其罰則並ニ其罰則ニ關スル事項ハ別段ノ規定アルニ從フ行政裁判所ニ出訴スルモノハ許シタル場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコト

ヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アルハ當該官廳ノ意見ニ依リ其停止ノ爲メニ町村ノ公益ニ害アリト爲スルキハ此限ニ在ラズ

第二百十一條 監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂滯留セサルヤ否ヲ監視ス可シ監督官廳ハ之カ爲メ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシムル豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就テ事務ノ現況ヲ觀察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第二百十二條 町村又ハ其組合ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ命令スル所ノ支出額豫算ニ載セス又ハ臨時之ヲ承認セス又ハ臨時支拂セサルトキ郡長ハ理由ヲ示シテ其支出額ヲ定額豫算表ニ加ヘ又ハ臨時支拂出セシム可シ

町村又ハ其組合ニ於テ前項ノ處分ニ不服アルトキ府縣參事會ニ訴願シ其府

市制町村制 町村制 町村行政ノ監督

縣參事會之裁決ニ不服スルハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 第二百二十三條 凡町村會ニ於テ議決ス可キ事件ヲ議決セサルトキハ郡參事會代  
 之ヲ議決ス可シ  
 第二百二十四條 內務大臣ハ町村會ヲ解散セシムルコトヲ得解散ヲ命シタル場合  
 ニ於テハ同時ニ三箇月以内更ニ議員ヲ改選ス可キコトヲ命ス可シ但改選町村  
 會ヲ集會スル迄ハ郡參事會町村會ニ代テ一切ノ事件ヲ議決ス

第二百二十五條 左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ內務大臣ノ許可ヲ受ク必  
 要ス(三十三年法律第四十七號ヲ以テ第三項削除)  
 一 町村條例ヲ設ケ並改正スル事  
 二 學藝、美術ニ關シ又ハ歷史上貴重ナル物品ノ賣却讓與質入書入交換若ク  
 ハ大ナル變更ヲ爲ス事  
 第二百二十六條 左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ  
 受クルコトヲ要ス

- 一 新ニ町村ノ負債ヲ起シ又ハ負債額ヲ増加シ及第百六條第二項ノ例ニ違フ  
 モノ但償還期限三年以内ノモノハ此限ニ在ラス
- 二 町村特別稅並使用料、手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
- 三 地租五分ノ一其他直接稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事  
 (三十三年法律第四十八號ヲ以テ本號中改正)
- 四 間接國稅ニ附加稅ヲ賦課スル事
- 五 法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ補助スル歩合金ニ對シ支出金ヲ定ムル  
 事

第二百二十七條 左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ郡參事會ノ許可ヲ受ク必  
 要ス  
 一 町村ノ營造物ニ關スル規則ヲ設ケ並改正スル事  
 二 基本財産ノ處分ニ關スル事(第八十一條)  
 三 町村有不動産ノ賣却讓與並質入書入ヲ爲ス事  
 市制町村制 町村制 町村行政ノ監督 百五

- 四 各個人特ニ使用スル町村有土地使用法ニ變更ヲ爲ス事(第八十六條)
- 五 各種ノ保證ヲ與フ事(第八十七條)
- 六 法律勅令ニ依テ負擔スル義務ニ非カシテ向五箇年以上ニ亘リ新ニ町村住民ニ負擔ヲ課スル事
- 七 均一ノ稅率ニ據テスルテ國稅府縣稅ニ附加稅ヲ賦課スル事(第九十條第二項)
- 八 第九十九條ニ從ヒ數個人又ハ町村内ノ一部ニ費用ヲ賦課スル事(第九十九條ノ第一條ノ進率ニ據テシテ夫役及現品ヲ賦課スル事)
- 第九十條 府縣知事郡長ハ町村長、助役、委員、區長其他町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其懲戒處分ハ譴責及過怠金トス郡長懲戒處分係ル過怠金十圓以下府縣知事ノ處分係ル過怠金五十圓以下トス
- 追テ町村吏員ノ懲戒法ヲ設ケル迄ハ左ノ區別ニ從ヒ官吏懲戒例ヲ適用ス可シ

- 一 町村長ノ懲戒處分(第六十八條第二項第五)ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 二 郡長ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ府縣知事ノ懲戒處分及裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 三 本條第一項ニ掲載スル町村吏員職務ニ違背其再三及ヒ又ハ其情狀重キ者又ハ行狀ナリ廉耻ヲ失フ者ハ財產ヲ浪費シ其分限守ラズ職者又ハ職務ヲ行ハル者ハ懲戒裁判ヲ以テ其職ヲ解任シ得其隨時解職裁決コトヲ得
- 四 懲戒裁判ハ(第六十七條)懲戒裁判ヲ以テスル外限ニ在ラズ
- 總テ解職セラレタル者ハ自己ノ所爲ニ非スシテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲メ解職セラレタル場合ヲ除ク外退職料ヲ受ケルノ權ヲ失フモ少ナシ
- 四 懲戒裁判ハ郡長其審問ヲ爲シ郡長事務會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ市制町村制 町村制 町村行政ノ監督 百七

府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴  
スルコトヲ得

監督官廳ニ懲戒裁判ノ裁決前吏員ノ停職ヲ命シ並給料ヲ停止スルコトヲ  
得

第二百二十九條 町村吏員及使下其職務ヲ盡ス又ハ權限ヲ越エタル事アルカ爲  
メ町村ニ對シテ賠償不可キコトアルヲ知キハ郡參事會之ヲ裁決シ其裁決ニ不服  
アル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シ然レ日ヨリ七日以内ニ府縣參事會ニ  
訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但  
訴願ヲ爲シタルトキハ郡參事會ニ假ニ其財産ヲ差押フルコトヲ得

第八章 附則  
第二百三十條 郡參事會ハ府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間郡參事會ノ  
職務ハ郡長、府縣參事會ノ職務ハ府縣知事、行政裁判所ノ職務ハ內閣ニ於テ  
之ヲ行フ可シ

第二百三十一條 此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付町村長及町村會ノ職務並  
町村條例ヲ以テ定ム可キ事項ハ郡長又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可  
シ

第二百三十二條 此法律ハ北海道、沖繩縣其他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ之ヲ施  
スルニ付別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ムル可キ事項ハ郡長又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可  
シ

第二百三十三條 前條以外特別ノ事情アル地方ニ於テハ町村會及町村長ノ具申又  
ハ郡參事會ノ具申ニ依リ勅令ヲ以テ此法律中ノ條規ヲ修正改定スル可キ事  
第二百三十四條 社宗教ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用スルニ付現行ノ例規及其地  
方ノ習慣ニ從フ即前條中ノ規定ニ準ジテ之ヲ適用スル可キ事  
第二百三十五條 此法律中ニ記載セラル入口ノ最終ノ入口調査ニ依リ現役軍人ヲ除  
キ其餘タル數ヲ云フ事ハ前條中ノ規定ニ準ジテ之ヲ適用スル可キ事  
第二百三十六條 現行ノ租稅中此法律ニ於テ直接稅又ハ間接稅トス可キ類別ハ内

國務大臣及大藏大臣之告示 依此告示 各省長官 應遵照 此告示 之規定 辦理 凡 屬 此 告示 之 範圍 內 之 地方 官 署 應 遵照 此 告示 之 規定 辦理 凡 屬 此 告示 之 範圍 內 之 地方 官 署 應 遵照 此 告示 之 規定 辦理

第三百三十七條 此法律ハ明治二十二年四月一日ヨリ地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣以指揮ヲ以テ之ヲ施行ス可シ

第三百三十八條 明治九年十月第三百三十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則 明治十二年七月第十七號布告郡區町村編制法第六條及第九條但書 明治十七年五月第十四號布告區町村會法 明治十七年五月第十五號布告 明治十七年七月第二十三號布告 明治十八年九月第二十五號布告 其他此法律ニ抵触スル成規ハ此法律施行之日ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第三百三十九條 内務大臣ハ此法律實行ノ責任シ之方爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布ス可シ

●市町村名及市役所町村役場位置變更方

明治二十三年八月二十九日 法律第七十七號

朕市町村名及市役所町村役場位置變更ニ關スル件ハ裁可シ茲ニ之ヲ公布ス

第一條 市町村以名稱ヲ變更シ若ハ村ヲ町爲シ町ヲ村ト爲シ以テ此法律ニ抵触關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會之ヲ議決シ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 市役所町村役場ノ位置ヲ變更スル市町村會以議決ハ府縣知事以認可ヲ受クヘシ

●町村ノ廢置分合ニ關スル件

第一條 町村制第四條ニ依リ新ニ町村ヲ置キタル場合ニ於テ町村長就職スル時 市町村名及市役所町村役場位置變更方 町村ノ廢置分合ニ關スル件

第三條 新ニ町村ヲ置キタル場合ニ於テ町村會成立スルニ至ルマテ始メ伊議  
費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ其ノ事務取扱ヲ爲サシムヘシ  
前項ニ依リ事務取扱ヲ命シタル前町村ノ吏員及臨時代理者ノ給料(報酬)旅  
費(實費辨償額)等ハ監督官廳ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第二條 新ニ町村ヲ置キタル場合ニ於テ町村會成立スルニ至ルマテ始メ伊議  
費ヲ選舉スルニ付町村會ノ議決スヘキ事件ハ郡參事會代ツテ之ヲ議決スヘ  
シ

第三條 新ニ町村ヲ置キタル日ヨリ町村稅徵收ニ至ルマテ其ノ町村必要ノ費用  
ハ其ノ事務取扱者ニ於テ豫算ヲ設ケ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ  
知補項ノ費用ハ假ニ町村稅ヲ徵收シテ之ニ充テ又前町村ノ引繼金若クハ一時  
ノ借入金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第四條 前條第二項ニ依リ假徵收ヲ爲シタル町村稅ハ追テ町村會ニ於テ該年度  
ノ收支豫算ヲ議決シタル上町村稅各納人ニ對シ差引徵收ヲ爲スヘシ

第五條 町村制第四條ノ處分ヲ爲シタル爲メ町村ノ消滅シタル場合ニ於テハ其  
ノ財務ハ實施ノ期日ヲ限リ打切り決算スヘシ  
前項ノ決算ハ其ノ事務ヲ繼承シタル町村長ヨリ其ノ町村會ニ報告スヘシ

第六條 町村制第四條ノ處分ヲ爲シタル爲メ町村ノ消滅シタル場合ニ於テ前町  
村ニ對スル町村稅其ノ他ノ徵收ハ未納金アルトキハ其ノ部分ヲ屬スル町村  
町村長ニ於テ之ヲ徵收スヘシ

第七條 町村ノ一部ヲ分割シテ新ニ町村ヲ置キ又ハ町村ノ區域ヲ變更シタル場  
合ニ於テ前町村ニ對スル町村稅其ノ他ノ收入ノ未納金アルトキハ其ノ部分ノ  
屬スル町村ノ町村長ハ前町村長ノ囑託ニ依リ之ヲ徵收スヘシ

第八條 町村公民ノ資格要件中其ノ年限ニ關スルモノハ町村ノ廢置分合若クハ  
境界變更處分ノ爲ニ中斷セラレサルモノトス

第九條 新町村ノ役場位置ハ府縣知事ニ於テ之ヲ定ムヘシ  
第十條 町村ヲ變シテ市ト爲シ又ハ市ヲ變シテ町村ト爲シ又ハ市制第四條ノ處  
町村ノ廢置分合ニ關スル件

分爲シタル場合ニ於テ法律令中別段ノ規程アルモノヲ除ク外總テ此省令  
以規程ヲ適用ス

市制町村制第十五條 官吏ノ件

(明治二十二年六月四日 閣令第十八號)

府縣會規則第十三條市制町村制第十五條衆議院議員選舉法第九條第十條ニ記載  
シタル官吏ハ在職者ニ限ルモノトス

非職者休職者ニシテ議員又ハ市町村ノ吏員タルトスルハ本屬長官ノ許可  
ヲ受ク可シ

市町村會議員選舉罰則 (明治二十三年五月二十九日 法律第三十九號)

朕市町村會議員選舉罰則ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

市町村會議員選舉罰則

第一條凡テ選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シテ選舉人名簿ニ記載セラレタル  
者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セザル者ハ他人以爲テ投票ヲ爲スル  
才抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若クハ公私ノ職務ヲ選  
舉人ニ授與シ又ハ授與スル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金  
ニ處ス

第三條 投票又ハ約束受ケタル者亦同シ

第四條 第三條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉會場又近傍若クハ選舉人往來ノ途  
中ニ於テ選舉人ニ酒食ヲ供シ又ハ選舉會場ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ給シタル  
者ハ第三條物品授與ノ例ニ依リ處斷ス

市制町村制第十五條ノ官吏ノ件 市町村會議員選舉罰則

百十五



其供給ヲ受ル者亦同シ  
第四條 第三條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ヲ爲ニ選舉會場ニ往復スル車馬  
賃及ハ路費若クハ宿泊料ノ類代辨シ又代辨スル者トテ約束シタル者ハ第  
三條登錄授與規則ニ依リ處斷スル

其代辨又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ  
第五條 第三條及第四條ニ記載シタル所業ヲ爲シ以テ第二條ニ記載シタル  
目的ヲ達シタル者ハ刑法第三百三十四條ノ例ニ以テ手輪スル  
第六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加スル者ハ五日以  
上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ヲ脅迫シ誘引シ若シ其往來以  
便ヲ妨礙スル者ハ詐僞以テ手段以テ其選舉權ノ施行ヲ妨害シタル者ハ第六條暴  
行ノ例ニ依リ處罰スル  
第八條 第六條及第七條ニ記載シタル所業ヲ爲シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ

達シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ  
附加ス

第九條 選舉人ヲ脅迫シ若シハ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ扣留毀壞若クハ  
切奪スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處  
シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮又ハ二圓以上二  
十圓以下ノ罰金ニ處スル  
第十條 選舉人ニ對シテ選舉會場ニ入リテ投票スル者ハ及テ其暴行并シテ  
第十一條 多衆ヲ嘯聚シテ第十條ノ罪ヲ犯シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁  
錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ四圓以上四  
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
市町村會議員選舉規則 百十七

十圓以下ノ罰金ニ處スル者ハ十五日以上十六日以下ノ拘留又ハ四圓以上四  
 第廿二條ノ第九條第十條第十條ノ場合ニ於テ犯罪者或器又ハ兇器ヲ携帶シタ  
 第廿三條ノ各本刑三等ヲ加フ利ハ其ノ罪ニ依リテ其ノ本刑ノ半以下ノ罰金  
 第廿三條ノ選舉會場所在シテ郡市内ニ於テ選舉ノ氣勢漲ル爲多衆集合シ若クハ  
 隊伍ヲ組シ或往來シ又或騒火松明ヲ焚キ若クハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗  
 幟其其標章ヲ用非ル等ノ所業ヲ爲シ警察官ニ制止テ受刑モ仍其命旨從テサ  
 ル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加  
 第十四條ノ被選人タルコトヲ得ル者或指シテ被選人タルコトヲ得ル又ハ當選ヲ  
 承諾スルノ意ヲシルノ虚報ヲ流傳セシメタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金  
 第十五條ノ戒器又ハ兇器ヲ携帶シテ選舉會場ニ入りタル者ハ三圓以上三十圓以  
 下ノ罰金ニ處スル

第十六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ張札ノ類ヲ公然掲示シタル者ハ二圓  
 以上二十圓以下ノ罰金ニ處スル  
 第十七條 他人ノ姓名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シ又ハ選舉人タルコトヲ得スシテ投  
 票ヲ爲シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處スル  
 第十八條 當選人第二條乃至第十六條ニ依リテ刑ニ處セラルル者ハ其當選ハ  
 無効トス  
 第十九條 本法ニ規定シタルモノノ外刑法ニ正條アルモノハ各、其條ニ依リ重  
 第二條ニ從テ處斷スル  
 第二十條 本法ニ關スル犯罪ハ六箇月ヲ以テ期滿免除トスル  
 第二十一條 本法ニ關スル市町村會ノ外市制町村政ニ明治三十二年法律第十二號ニ據  
 リテ開設スル各種ノ議會ノ議員選舉ニモ適用ス

市町村會議員選舉規則  
 前十九

●市町村制中直接税間接税ノ類別

(明治二十一年七月十三日)  
(大藏省告示第九十五號)

本年法律第一號市制第三百三十一條町村制第三百三十六條直接税間接税ノ類別ハ左ノ如ク  
茲諸税ヲ以テ直接税トシ其他ハ間接税トシ但府縣區町村ニ於テ特ニ徵收スルモノハ府縣知事ノ稟申ヲ以テ之ヲ定メ其直接トスヘキモノハ府縣知事ヲシテ管内  
ニ於テ告示セシムル事トス

- 地租 所得税 (所得税法第三條第一項第三種ノ所得中無記名債券ノ所得ニ係ル所得税ヲ除ク) (三十二年大藏省告示第四十七號ヲ以テ追加)
- 營業税 (二十九年大藏省告示第五十四號ヲ以テ追加)
- 府縣知事ノ稟申ヲ以テ之ヲ定メ其直接トスヘキモノハ府縣知事ヲシテ管内ニ於テ告示セシムル事トス
- 地租 戶數制 家屋税 營業税 雜種税 營業税附加税 (三十年大藏省告示第十一號ヲ以テ追加)

告示第十一號ヲ以テ追加)

市町村税 (三十五年大藏省告示第三十九號ヲ以テ區町村税ヲ市町村税トシテ改メ) (三十五年大藏省告示第三十九號ヲ以テ改メ) (三十五年大藏省告示第三十九號ヲ以テ改メ) (三十五年大藏省告示第三十九號ヲ以テ改メ)

●市町村歳入出豫算表式

(明治二十二年三月一日)  
(内務省令第一二號) 第四條

明治二十一年法律第一號市制町村制ニ依リ市町村歳入出豫算表式左ノ通相定ム

- 合算金 (市町村歳入出豫算表式ハ其合算金ニ依リ)
- 某府(縣)某市某郡某町(村) (某町村組合) 明治何年度歳入出總計豫算
- 歳入
- 歳入豫算高
- 市町村制中直接税ノ類別 市町村歳入出豫算表式 百二十三

一金 歳出 經常費豫算高

一金 歳入 經常費豫算高

一金 歳入 臨時費豫算高

合計金 (臨時費ノ豫算ナキトスハ此合計ヲ省ク)

歳入出差引残金及歳出ノ精算残金ニ翌年度繰越金ニ編入スルヲ通例ト爲ス

ト雖モ若シ該残金又ハ歳入豫算ニ對スル實收額ノ増減金額等特ニ其處分ヲ要スルトキハ豫メ其方法ヲ議定シ本案ニ列掲スヘシ例ヘハ残金ノ處分ニ付

其殘金總額以何歩ノ基本財産何歩ノ豫備費何歩ノ翌年度繰越金ニ編入スヘシト掲記シ又豫算ニ對スル實收ノ増減ニ付テハ何收入何税ノ増額ハ何

收入何税ノ實收減額ヲ補填シ繰越金アルトキハ何々(基本財産、豫備費、翌年度繰越金等)ニ編入スヘシト掲記スルノ類

二 歳入

某府(縣)某市某郡某町(村)某町村組合明治何年度歳入出豫算表

| 科 目         | 前年度豫算額 | 本年度豫算額 | 附 記 |
|-------------|--------|--------|-----|
| 第一款 財産物生    |        |        |     |
| 第二款 使用料及手敗料 |        |        |     |
| 第三款         |        |        |     |
| 第四款         |        |        |     |
| 第五款         |        |        |     |
| 第六款         |        |        |     |
| 第七款         |        |        |     |
| 第八款         |        |        |     |
| 第九款         |        |        |     |
| 第十款         |        |        |     |
| 第十一款        |        |        |     |
| 第十二款        |        |        |     |
| 第十三款        |        |        |     |
| 第十四款        |        |        |     |
| 第十五款        |        |        |     |
| 第十六款        |        |        |     |
| 第十七款        |        |        |     |
| 第十八款        |        |        |     |
| 第十九款        |        |        |     |
| 第二十款        |        |        |     |
| 第二十一款       |        |        |     |
| 第二十二款       |        |        |     |
| 第二十三款       |        |        |     |
| 第二十四款       |        |        |     |
| 第二十五款       |        |        |     |
| 第二十六款       |        |        |     |
| 第二十七款       |        |        |     |
| 第二十八款       |        |        |     |
| 第二十九款       |        |        |     |
| 第三十款        |        |        |     |
| 第三十一款       |        |        |     |
| 第三十二款       |        |        |     |
| 第三十三款       |        |        |     |
| 第三十四款       |        |        |     |
| 第三十五款       |        |        |     |
| 第三十六款       |        |        |     |
| 第三十七款       |        |        |     |
| 第三十八款       |        |        |     |
| 第三十九款       |        |        |     |
| 第四十款        |        |        |     |
| 第四十一款       |        |        |     |
| 第四十二款       |        |        |     |
| 第四十三款       |        |        |     |
| 第四十四款       |        |        |     |
| 第四十五款       |        |        |     |
| 第四十六款       |        |        |     |
| 第四十七款       |        |        |     |
| 第四十八款       |        |        |     |
| 第四十九款       |        |        |     |
| 第五十款        |        |        |     |
| 第五十一款       |        |        |     |
| 第五十二款       |        |        |     |
| 第五十三款       |        |        |     |
| 第五十四款       |        |        |     |
| 第五十五款       |        |        |     |
| 第五十六款       |        |        |     |
| 第五十七款       |        |        |     |
| 第五十八款       |        |        |     |
| 第五十九款       |        |        |     |
| 第六十款        |        |        |     |
| 第六十一款       |        |        |     |
| 第六十二款       |        |        |     |
| 第六十三款       |        |        |     |
| 第六十四款       |        |        |     |
| 第六十五款       |        |        |     |
| 第六十六款       |        |        |     |
| 第六十七款       |        |        |     |
| 第六十八款       |        |        |     |
| 第六十九款       |        |        |     |
| 第七十款        |        |        |     |
| 第七十一款       |        |        |     |
| 第七十二款       |        |        |     |
| 第七十三款       |        |        |     |
| 第七十四款       |        |        |     |
| 第七十五款       |        |        |     |
| 第七十六款       |        |        |     |
| 第七十七款       |        |        |     |
| 第七十八款       |        |        |     |
| 第七十九款       |        |        |     |
| 第八十款        |        |        |     |
| 第八十一款       |        |        |     |
| 第八十二款       |        |        |     |
| 第八十三款       |        |        |     |
| 第八十四款       |        |        |     |
| 第八十五款       |        |        |     |
| 第八十六款       |        |        |     |
| 第八十七款       |        |        |     |
| 第八十八款       |        |        |     |
| 第八十九款       |        |        |     |
| 第九十款        |        |        |     |
| 第九十一款       |        |        |     |
| 第九十二款       |        |        |     |
| 第九十三款       |        |        |     |
| 第九十四款       |        |        |     |
| 第九十五款       |        |        |     |
| 第九十六款       |        |        |     |
| 第九十七款       |        |        |     |
| 第九十八款       |        |        |     |
| 第九十九款       |        |        |     |
| 第一百款        |        |        |     |

市町村歳入出豫算表式

|     |              |  |  |  |  |  |  |
|-----|--------------|--|--|--|--|--|--|
| 三   | 第三款 雑収入      |  |  |  |  |  |  |
| 二   | 第二款 雑収入      |  |  |  |  |  |  |
| 三   | 第三款 前年度繰入金   |  |  |  |  |  |  |
| 第四款 | 前年度繰入金       |  |  |  |  |  |  |
| 第五款 | 市町村税         |  |  |  |  |  |  |
| 一   | 一 雑地 假目割     |  |  |  |  |  |  |
| 二   | 二 營業 割入      |  |  |  |  |  |  |
| 三   | 三 月別割 (家屋別割) |  |  |  |  |  |  |

合計

歳出

一 經常費

|     |         |        |        |    |
|-----|---------|--------|--------|----|
| 第四款 | 教育費     | 前年度豫算額 | 本年度豫算額 | 附記 |
| 第三款 | 役所(役場)費 |        |        |    |
| 二   | 二       |        |        |    |
| 三   | 三       |        |        |    |
| 第三款 | 土木費     |        |        |    |
| 第二款 | 會議費     |        |        |    |
| 二   | 二       |        |        |    |

市町村歳入出豫算表式

市町村歳入出豫算表式

|   |         |       |       |        |        |        |        |        |
|---|---------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 二 | 第三款 會館費 |       |       |        |        |        |        |        |
| 二 | 第三款 土木費 |       |       |        |        |        |        |        |
| 三 | 第四款 教育費 | 第一 學費 | 第二 雜費 | 第三 給食費 | 第四 給水費 | 第五 給紙費 | 第六 給油費 | 第七 給電費 |
| 一 | 第一 學費   |       |       |        |        |        |        |        |
| 二 | 第二 雜費   |       |       |        |        |        |        |        |
| 三 | 第三 給食費  |       |       |        |        |        |        |        |
| 四 | 第四 給水費  |       |       |        |        |        |        |        |
| 五 | 第五 給紙費  |       |       |        |        |        |        |        |
| 六 | 第六 給油費  |       |       |        |        |        |        |        |
| 七 | 第七 給電費  |       |       |        |        |        |        |        |

市町村歳入出豫算表式

|   |         |  |  |  |  |  |  |  |
|---|---------|--|--|--|--|--|--|--|
| 二 | 第五款 衛生費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 一 | 第一 消毒費  |  |  |  |  |  |  |  |
| 二 | 第二 救護費  |  |  |  |  |  |  |  |
| 三 | 第三 救急費  |  |  |  |  |  |  |  |
| 四 | 第四 救急費  |  |  |  |  |  |  |  |
| 五 | 第五 救急費  |  |  |  |  |  |  |  |
| 六 | 第六 救急費  |  |  |  |  |  |  |  |
| 七 | 第七 救急費  |  |  |  |  |  |  |  |



| 科 目 | 前年度豫算額 | 本年度豫算額 | 附 記 |
|-----|--------|--------|-----|
| 第一款 |        |        |     |
| 合計  |        |        |     |
| 通 計 |        |        |     |

明治何年何月何日提出

記 載 例

市町村長 何 某(自署)

- 一 經常歳出ハ毎會計年度普通支出ヲ要スヘキ歳出ヲ編入シ臨時歳出ハ時ニ依リ若クハ偶然生スヘキ歳出例ヘハ異常ノ土木工事ニ係ル費用及臨時傳染病豫防費等ノ類ヲ編入スヘキ歳出例ニ依リ臨時歳出ニ編入ス
- 二 歳入歳出科目欄内ニハ物件又ハ費項ノ細節前年度豫算額本年度豫算額ニハ各其金額附記欄内ニハ各其事由ヲ梗概ヲ記スヘキ例ニ依リ歳入ノ部財産見入生スル收入ニ在テハ貸地料、蔵敷料、貸金利子、(科目)何圓(金額)某所存何(宅地原野)貸地料一箇月何圓、某所土蔵幾棟一棟ニ付何圓、共有金貸附元金何百圓、年幾割此利金何百圓、月幾割此利金何圓、(附記)歳出ノ部役所役場費ニ在テハ市町村長給料、助役給料委實報酬、(科目)何圓(金額)年幾何圓幾人、月給何圓幾人、一箇年何圓、(附記)ト記載スルノ類
- 三 財産ヨリ生ズル收入ノ款ニハ動産、不動産ノ所得及瓦斯水道ノ如キ工事ノ所得ヲ編入スヘキ例ニ依リ、(科目)何圓(金額)年幾何圓幾人、(附記)ト記載スルノ類
- 四 市町村歳入出豫算表式



- 四 雑収入ノ款ニハ加入金、渡船賃、橋梁賃、不用品賣拂代、竹木拂代、過意金、料料金、賠償金、其他ノ收入ニシテ他ノ各款ニ屬セザル諸收入ヲ編入スル
- 五 市町村税中地價割ニ付テハ地租ニ對シテ歩合ニ營業割戸別割及家屋割ニ付テハ地方税營業稅雜種稅戸數割又ハ家屋稅ニ對シテ歩合ヲ掲載スル
- 六 市町村特別稅ヲ設クルニキリ戸別割又ハ家屋割ノ次ニ之ヲ掲載スル
- 七 諸稅及負擔ノ款ニシテ市町村有地所以地租又ハ地租割及郡費負擔等ノ類ヲ編入スル
- 八 雜支出ノ款ニシテ火災保險料、山番給與基地費等他ノ各款ニ屬セザル諸支出ニシテ編入スル
- 九 雜收入又ハ雜支出ニ編入シ難キ收支アル等別ニ一款ヲ設クルノ必要アルトキハ適宜之ヲ設クル
- 十 歳入歳出科目中其節目數多シシテハ適宜ニ項目ヲ設ケル

- 十一 場費中ニ給料雜給需用費ノ項目ヲ設ケ尙其細節ヲ編次スル如シ
- 十二 豫備費ヲ置ケトキハ雜支出ノ次ニ其一款ヲ設ケヘシ若シ精算殘餘ヲ生スルトキハ順次之ヲ次年度ニ繰越ス
- 十三 瓦斯燈水道等ノ類ニシテ別ニ豫算ヲ設クルヲ必要トスルトキハ適宜之ヲ調整スル
- 十四 町村組合ニ在テハ分擔法ニ依リ歳入科目第五款町村稅ノ款ニ於テ左ノ如ク掲載スルモ妨ケオシ

|         |  |
|---------|--|
| 第五款 町村稅 |  |
| 某町ノ負擔   |  |

市町村歳入出豫算表式

|   |       |  |
|---|-------|--|
| 一 | 地價割   |  |
| 二 | 田營業割  |  |
| 三 | 戸別割   |  |
| 四 | 某村ノ負擔 |  |
| 五 | 一 地價割 |  |
| 六 | 營業割   |  |
| 七 | 戸別割   |  |

●市町村行政ニ關シ主務大臣許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任ノ件ヲ職町シ茲ニ之  
 事ニ委任ノ件 (明治三十三年三月三十日) 勅令第百四十三號

朕市町村行政ニ關シ主務大臣許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任ノ件ヲ職町シ茲ニ之  
 ナ公布セシム

市制第二百一十一條第百二十二條町制第二百二十五條第百二十六條及地方學事通  
 則第十二條ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ要スル事項中左ニ掲ケルモノハ府縣知事ニ  
 於テ之ヲ許可スヘシ

一 市長代理順序 町村助役定員増加 町村長町村助役有給 公告式及學  
 務委員ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スル事

二 地租二分ノ一以下ノ附加稅ヲ賦課スル事

本令 明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●市町村制規定ノ人口調査告示ノ件

明治三十三年十二月二十六日 內務省 令第五十八號

市町村行政ニ關シ主務大臣許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任ノ件 百三十五

市町村制規定ノ人口調査告示ノ件



第一條 區ニ區長代理者ヲ置カス區長故障アルトキハ上席區書記之ヲ代理ス

第二條 區收入役故障アルトキハ市參事會ノ指名シタル區書記之ヲ代理ス

第三條 區長ニ於テ財產營造物ニ關スル事務其ノ他區ニ屬スル事務ヲ處理スル

ニ付テハ市ノ事務ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條 區長ハ法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外府知事ノ指揮命令ヲ承ケ若ハ委

任ニ依リ區内ニ關スル國及府ノ行政事務ヲ督掌ス

第五條 區長ハ區書記其ノ他附屬員ヲ指揮監督ス

第六條 區收入役ノ職務權限及處務規程ニ關シテハ市收入役ニ關スル規定ヲ準

用ス

第七條 從來ノ區會ハ之ヲ存シ新ニ區會ヲ設クルトキハ市制第百十三條ノ例ニ

依ル

事務ヲ議決ス

區會議員ハ市ノ名譽職トス

第八條 區會議員ノ選舉權及被選舉權ノ有無、選舉人名簿ノ正否並其ノ等級ノ

監督、代理ヲ以テ執行スル選舉權及區會議員ノ選舉ノ效力並區會議員當選者

ノ資格ノ有無ニ關シテハ市會ニ關スル規定ヲ適用シ其ノ他區會ニ關シテハ市

會ニ關スル規定ヲ準用ス

區長ト區會トノ關係ニ付テハ市參事會ト市會トノ關係ニ關スル規定ヲ準用ス

第九條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條 區ノ名稱及區役所ノ位置ヲ定メ若ハ變更セムトスルトキハ區會ニ於テ

議決シ區會ヲキトキハ市會之ヲ議決シ府知事ヲ認可ヲ受ク

附則 第十一條 本令ハ明治三十一年十月一日ヨリ施行ス

東京市、京都市、大阪市ノ區ニ關スル件

●東京市、京都市、大阪市ヲ除クノ外人口二十萬以上ノ市ノ区ニ關スル件

(明治三十三年三月三十日) 勅令第九十八號

朕東京市、京都市、大阪市ヲ除クノ外人口二十萬以上ノ市ノ区ニ關スル件ヲ裁可シ茲之ヲ公布セシム

第一條 本令ハ東京市、京都市、大阪市ヲ除クノ外人口二十萬以上ノ市ニシテ有給ノ區長ヲ置ク地ニ之ヲ施行スル市會ハ、開辦ニ關シテ、賦課モ、課税モ、

第二條 區區ヲ廢置分合シ又ハ其ノ境界ヲ變更セムトスルトキハ内務大臣ノ許可ヲ受テシテ之ヲ施行スル

本條ノ處分ニ關シ其ノ區ノ財産處分ヲ要スルハ、市會ハ其ノ開辦ニ關シテ、市會大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 區ノ名稱及區役所ノ位置ヲ定メ若ハ變更セムトスルトキハ市參事會之ヲ議決シ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第四條 區ニ區長代理者ヲ置カズ

第五條 區長ハ市長、市參事會若ハ市收入役ノ命ヲ承ケ又ハ其ノ委任ニ依リ區内ニ關スル市ノ事務ヲ掌ル

區長ハ市參事會以監督ヲ承テ區ノ事務ヲ掌ル

前項區長ニ於テ區ノ事務ヲ處理スルニ付テハ市ノ事務ニ關スル規定ヲ準用ス

區長其ノ他區ノ吏員ハ法律命令ニ定ムル外府縣知事ノ命ヲ承テ若ハ其ノ委任ニ依リ區内ニ關スル國及府縣ノ行政事務ヲ掌ル

區長ハ市長以委任ニ依リ市制第七十四條ノ事務ニ於テ區内ニ關スルモノヲ掌ル

前項ノ場合ニ依テ市長ハ委任ニ監督官廳ノ許可ヲ受テ之ヲ施行スル

本條ノ事務ヲ執行スル爲メ費用ハ市ノ負擔トス但シ法律命令中別段ノ規定ニ依リテ之ヲ除外スル

東京市、京都市、大阪市ヲ除クノ外人口二十萬以上ノ市ノ區ニ關スル件

市ノ區ニ關スル件

東京市京都市大阪市ヲ除クノ外人口二十萬以上ノ市ノ區ニ關スル件

第六條 區長故障アルトキハ區ノ上席附屬員之ヲ代理ス

第七條 區收入役ハ市收入役ノ命ヲ承ケ若シ其ノ委任ニ依リ區内ニ關スル市收入役ノ事務ヲ掌ル區收入役ハ區ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル

第八條 區收入役故障アルトキハ市參事會ノ指名シタル區ノ附屬員之ヲ代理

第九條 區ノ附屬員ハ區長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十條 區長ト區會トノ關係ニ付テハ市參事會ト市會トノ關係ニ關スル規定ヲ準用ス

第十一條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第十二條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第十四條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

東京市京都市大阪市ヲ除クノ外人口二十萬以上ノ市ノ區ニ關スル件

百四十三



●法令提要目次

|             |    |
|-------------|----|
| 華族令         | 一  |
| 華族世襲財產法     | 四  |
| 華族世襲財產法施行手續 | 九  |
| 地所名稱區別      | 一四 |
| 官有財產管理規則    | 一八 |
| 官有地取扱規則     | 二三 |
| 土地收用法       | 二七 |
| 第一章 總則      | 二七 |
| 第二章 事業ノ準備   | 二九 |
| 第三章 事業ノ認定   | 三〇 |
| 第四章 收用ノ手續   | 三三 |
| 法令提要目次      | 一一 |



第五章 收用審査會……………七

第六章 損失ノ補償……………四

第七章 收用ノ效果……………四

第八章 費用ノ負擔……………四

第九章 監督、強制及罰則……………四

第十章 訴願及訴訟……………五

附則……………五

土地收用法施行令……………五

土地收用法第六條ニ基ツキテ發スル命令ノ件……………五

土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會ニ關スル件……………五

土地收用法第六十九條ニ依リテ發スル命令ノ件……………五

土地收用法第八十五條第三項ニ基ツキテ發スル命令ノ件……………六

鑛業條例……………六

第一章 總則……………六

第二章 試掘及採掘……………七

第三章 鑛區……………七

第四章 土地使用……………八

第五章 鑛業警察……………八

第六章 鑛夫……………八

第七章 鑛業稅及鑛區稅……………九

第八章 罰則……………九

第九章 附則……………九

鑛業條例施行細則……………九

砂鑛採取法……………一〇

砂鑛採取法施行細則……………一〇

森林法……………一〇

法令提要目次……………一〇

森林第一章 總則……………一六

第二章 營林之監督……………一七

第三章 保安林……………一八

第四章 森林警察……………一九

第五章 罰則……………二〇

第六章 雜則……………二一

森林法施行細則……………二二

國有林野法……………二三

農會法……………二四

農會令……………二五

農會令施行規則……………二六

產業組合法……………二七

第一章 總則……………二八

第二章 設立……………二九

第三章 組合員之權利義務……………三〇

第四章 管理……………三一

第五章 加入及脫退……………三二

第六章 監督……………三三

第七章 解散……………三四

第八章 清算……………三五

第九章 罰則……………三六

附則……………三七

產業組合法施行規則……………三八

產業組合登記取扱手續……………三九

產業組合登記簿ノ謄本、抄本等ノ手数料ノ件……………四〇

產業組合登記取扱場所……………四一

法令提要目次……………四二

耕地整理法

第一章 總則.....一〇六

第二章 發起及監督.....一〇一

第三章 總會.....一〇四

第四章 整理委員.....一〇七

第五章 第三權利者.....一〇九

第六章 費用.....一一三

第七章 罰則.....一一一

第八章 附則.....一一三

耕地整理法施行規則.....一一四

整理地登記規則.....一一三

整理地登記取扱手續.....一一五

漁業法.....一一八

取引所法

第一章 取引所ノ設立.....二四七

第二章 取引所ノ組織.....二四八

第三章 取引所ノ會員、株主及仲買人.....二五〇

第四章 取引所ノ役員.....二五一

第五章 取引所ノ賣買取引.....二五二

第六章 取引所ノ監督.....二五三

第七章 附則.....二五四

取引所法施行規則.....二五五

取引所所定ノ米ノ格付並株式會社組織及取引所所定款中續.....二五六

用認可ノ件.....二五八

米ノ有價證券取引市場設立ニ關スル件.....二五九

法令提要目次.....七

取引所設立發起認可申請ニ關スル件……………三六九

取引所資金、營業保證金、株式、手数料、積立金及賣買……………三七〇

取引方法ニ關スル規程、仲買人免許料……………三七〇

取引所稅法……………三七六

商業會議所法……………三七六

商業會議所法施行規則……………三九三

商業會議所議員選舉規則……………三〇二

商業會議所議員選舉權ニ關スル納稅額及資本額又ハ財産……………三〇二

ヲ目的トスル出資額ノ件……………三〇五

銀行條例……………三〇六

銀行條例施行細則……………三二六

貯蓄銀行條例……………三三〇

貯蓄銀行條例施行細則……………三三六

日本銀行條例……………三三〇

橫濱正金銀行條例……………三三六

日本勸業銀行法……………三三六

第一章 總則……………三四三

日本第二章 重役……………三四四

第三章 株主總會……………三四五

第四章 營業……………三四六

第五章 勸業債券……………三五二

第六章 準備金……………三四四

第七章 政府ノ監督及補助……………三四四

第八章 罰則……………三五三

附則……………三五八

農工銀行法……………三五八

法令提要目次……………九

第一章 總則.....三九

第二章 營業.....四〇

第三章 農工債券.....四七

第四章 準備金.....五〇

第五章 政府之監督及補助.....五九

第六章 罰則.....六一

附則.....六三

農工銀行補助法.....六三

日本興業銀行法.....六三

第一章 總則.....六三

第二章 重役.....六六

第三章 營業.....六七

第四章 債券.....六八

第五章 準備金.....七九

第六章 政府之監督及補助.....七九

第七章 罰則.....八一

附則.....八二

臺灣銀行法.....八三

臺灣銀行補助法.....八三

北海道拓殖銀行法.....八三

第一章 總則.....八三

第二章 重役.....八三

第三章 營業.....八三

第四章 債券.....八三

第五章 準備金.....八三

第六章 政府之監督及補助.....八三

法令提要目次.....八三

第七章 罰則……………三六六

附則……………三六九

銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル件……………三〇〇

保險業法……………三〇一

第一章 總則……………三〇一

第二章 株式會社……………三〇四

第三章 相互會社……………三〇六

第四節 設立……………三〇六

第五節 社員ノ權利義務……………三〇七

第六節 會社ノ機關……………三〇九

第七節 會社ノ計算……………三一〇

第八節 定款ノ變更……………三一〇

第九節 社員ノ退社……………三一七

第七節 解散……………三一九

第八節 清算……………三二〇

第九節 補則……………三二三

第四章 計算……………三二四

第五章 罰則……………三二五

附則……………三二六

保險業法施行規則……………三三二

外國保險會社ニ關スル件(勅令)……………三四〇

外國保險會社ニ關スル件(農商務省令)……………三四七

相互保險會社登記取扱手續……………三四九

相互保險會社登記簿謄本抄本等ノ手数料……………三五五

外國相互保險會社登記簿謄本抄本等ノ手数料……………三五五

相互保險會社登記事務取扱所ノ件……………三五五

法令提要目次……………三三三

明治三十三年司法省令第二十三號……………五三

明治三十三年司法省令第三十六號……………五三

私設鐵道法……………五三

私設鐵道法施行規則……………五三

外國ニ於テ鐵道ヲ敷設スル帝國會社ニ關スル件……………五三

明治三十三年法律第八十七號……………五三

明治三十三年勅令第三百六十六號……………五三

船舶法……………五三

船舶法施行細則……………五三

第一章 總則……………五三

第二章 積量ノ測定……………五三

第三章 船舶ノ登録……………五三

第四章 船舶國籍證書及假船舶國籍證書……………五三

第五章 國旗及船舶ノ標示……………五三

第六章 登録稅、手数料、旅費及日當……………五三

第七章 罰則……………五三

附則……………五三

船舶登記規則……………五三

第一章 總則……………五三

第二章 登記所……………五三

第三章 登記簿……………五三

第四章 登記手續……………五三

第二章 通則……………五三

第三節 所有權ニ關スル登記手續……………五三

第三節 抵當權及七賃借權ニ關スル登記手續……………五三

附則……………五三

法令提要目次……………五三

船舶登記取扱手続……………五八  
 船舶登記簿に謄本抄本等ノ手数料……………五七  
 船籍港力數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於ケル船  
 舶登記事務取扱ノ件……………五七  
 船員法……………五七  
 第一章 總則……………五七  
 第二章 船員手帖……………五八  
 第三章 船長……………五九  
 第四章 海員……………五九  
 第五章 規律……………六〇  
 第六章 罰則……………六一  
 附則……………六一  
 船員法施行細則……………六二

第一章 總則……………六二  
 第二章 船員手帖……………六三  
 第三章 船長……………六四  
 第四章 海員……………六五  
 第五章 手数料……………六六  
 第六章 罰則……………六七  
 附則……………六八  
 水先法……………六九  
 特許法……………七〇  
 特許法施行細則……………七〇  
 第一章 總則……………七一  
 第二章 出願……………七二  
 第三章 審査……………七三  
 法令提要目次……………七三



第四章 審判 ..... 六八二

第五章 特許 ..... 六八三

附則 ..... 六八〇

意匠法 ..... 六八一

意匠法施行細則 ..... 六八六

商標法 ..... 六八九

商標法施行細則 ..... 七〇六

特許代理業者登録規則 ..... 七〇六

特許出願ニ關スル明細書及圖面調製方標準 ..... 七〇三

特許、意匠及商標ニ關スル手数料 ..... 七〇七

特許、意匠又ハ商標ニ關シ差出ス請求書、申請書ニ要スル手数料 ..... 七〇七

特許法、意匠法及商標法施行細則ノ規定ニ依リ書留郵便ナ

以テ書類提出ノトキ封筒ニ記載方 ..... 七〇〇

度量衡法 ..... 七〇一

度量衡法施行規則 ..... 七〇二

第一章 檢定 ..... 七〇三

第二章 構造 ..... 七〇三

第三章 免許 ..... 七〇三

罰則 ..... 七〇三

附則 ..... 七〇三

治安警察法 ..... 七〇七

豫戒令 ..... 七〇七

行政執行法 ..... 七〇九

行政執行法施行令 ..... 七〇三

遺失物法 ..... 七〇八

法令提要目次

遺失物法施行細則……………七五三

質屋取締法……………七五三

質屋取締法細則……………七五三

古物商取締法……………七五三

古物商取締法細則……………七五三

感化法……………七五三

感化法施行規則……………七五三

精神病者監護法……………七五三

精神病者監護法施行規則……………七五三

精神病者監護法第六條及第八條第三項ニ依レル監護ニ關スル件……………七五三

宿泊届其ノ他ノ件……………七五三

登録事項通知及保存方……………七五三

狩獵法……………七五三

第一章 獵具、獵法……………八七九

第二章 狩獵免許……………八七九

第三章 鳥獸保護……………八七九

第四章 罰則……………八七九

附則……………八七九

狩獵法施行規則……………八七九

新聞紙條例……………八七九

新聞紙ニ關スル届書式……………八七九

出版法……………八七九

出版ニ關スル願届書式……………八七九

著作權法……………八七九

著作權法ニ關スル願届書式……………八七九

第二章 僞作……………八七九

法令提要目次……………八七九

第三章 罰則.....八九四

第四章 附則.....八九五

著作權者不明ノ著作物ニ關スル件.....八九七

著作權登録ニ關スル規定.....八九八

著作權ニ關スル登録簿閲覧日.....九〇一

地租條例.....九〇一

地租條例施行規則.....九一〇

土地墾帳規則.....九一五

土地墾帳規則施行細則.....九一六

宅地組換法.....九一八

所得稅法.....九二九

所得稅法施行規則.....九三三

營業稅法.....九四一

營業稅法施行規則.....九五七

營業稅法ニ關スル業名、課稅標準届樣式.....九六五

酒造稅法.....九六八

酒造稅法施行規則.....九八二

麥酒稅法.....九八三

麥酒稅法施行規則.....九八七

醬油稅則.....九〇〇

醬油稅則施行規則.....一〇一一

砂糖消費稅法.....一〇一六

砂糖消費稅法施行規則.....一〇三一

賣藥印紙稅規則.....一〇六一

骨牌稅法.....一〇六四

骨牌稅法施行規則.....一〇七〇

法令提要目次.....二二三

印紙税法.....107

  附則.....107

  證書ニ税印捺捺請求方.....107

  收入印紙ニ關スル件.....107

  收入印紙ノ形式.....107

  登録税法.....107

  登録税法施行規則.....107

  課税標準額及税額計算ニ關スル件.....107

  明治三十五年勅令第百三十九號.....107

國稅徵收法.....107

  第一章 總則.....107

  第二章 徵收.....107

  第三章 滯納處分.....107

  第四章 罰則.....107

第五章 附則.....109

  國稅徵收法施行規則.....109

  徵兵令

  第一章 總則.....110

  第二章 服役.....110

  第三章 免役延期及猶豫.....110

  第四章 雜則.....110

  第五章 罰則.....110

  第六章 附則.....111

  附則.....111

  徵兵検査規則.....111

  陸軍一年志願兵條例.....111

  徵兵令ニ依ル年齡計算方.....111

法令提要目次.....111

華族令ニ對シテ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

勳章ノ...

●華族令

(明治十七年七月七日)

(宮内省 番 外 達)

華族令左以通被仰出候ニ付此旨相達候事...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

勳章勅...

第六條 華族戸主ハ戶籍ニ屬スル祖父母及父母及妻及嫡長子孫及其妻ハ俱ニ華族ノ禮遇ヲ享ク

第七條 本人生存中相續人ヲシテ爵ヲ襲カシテ得ス

但刑法又ハ懲戒ノ處分ニ由リ爵ヲ奪ヒ又ハ族籍ヲ削ラレ更ニ特旨ヲ以テ相續人ニ授ケル者ハ此例ニ在ラズ

第八條 華族ノ戶籍及身分ハ宮内卿之ヲ管掌ス

第九條 華族及華族ノ子弟婚姻シ又ハ養子セントスル者ハ先ツ宮内卿ノ許可ヲ受ケルニシテ相續人トシテ

第十條 華族ハ其子弟ヲ相續ノ教育ヲ受ケシムルノ義務ヲ負フヘシ

第十一條 華族ハ相續及家政上ノ關係ヲ定ムル爲ニ法律命令及華族ニ關スル規

定ハ範圍内ニ於テ家範ヲ定ムル得(二十七年宮内省達甲第二號ヲ以テ

本條以下追加)

第十二條 家範ハ宮内大臣ノ認許ヲ經テシ其條項ヲ改正増補スルトキ亦同シ

第十三條 華族ノ戸主ニシテ監視ニ付セラルヘキ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ

華族ノ稱ヲ除キ其爵位ヲ返上セシム

第十四條 第五條及第六條ノ禮遇ヲ享ケル者ニシテ前條ニ當ルキハ其禮遇ヲ

禁止シ監視ノ刑者ハ之ヲ返上セシム

第十五條 華族ノ嫡長子孫ニシテ前條ニ當ルキハ華族ノ榮典ヲ繼承スルコトヲ得ス

第十六條 華族ノ戸主及第五條第六條ノ禮遇ヲ享ケル者ニシテ左ニ掲ケル事項

ノ一二當ルトキハ其禮遇ヲ停止ス

一 禁錮ノ刑ニ處セラレ其刑期間外者

二 刑罰ニ受テ拘留又ハ保釋者外責付中ノ者又ハ監視中ノ者

三 三人家資分散者ハ破産ノ宣告ヲ受テ復權セザル者又ハ身代限ノ處分ヲ受テ

負債ノ辨償ヲ終ルザル者

四 第十條ノ義務ヲ充タサル者

五 華族ノ品位ヲ保ツ能ハサル者

華族令

三

第十六條 華族ノ禮儀ニ失行アル者ハ第十三條第十四條又ハ第十  
五條ニ依リ處分セラルベシ

第十七條 華族ノ品位ヲ保シ能ハサル者ハ榮典ヲ辭スルコトヲ得

第十八條 第十三條乃至第十七條ニ處分シ勅裁ヲ仰キ宮内大臣之ヲ行フ但第十  
五條第四第五第十六條及第十七條ニ處分シ仰キハ華族中ヨリ勅選セラレタル  
七名以上ノ委員ヲシテ評議シ勅裁ヲ仰クヘシ

第十九條 華族世襲財產法 (明治十九年四月二十八日勅令第三十四號)

朕華族世襲財產法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシメ爾後勅令第三十四號ニ依リ  
施行ス

第一條 華族ノ主滿二十年以上者ハ此法ニ依リ世襲財產ヲ創設スルコトヲ得  
但滿二十年以下者ハ雖モ前代君主ノ遺言アルトキハ世襲財產ヲ創設スルコ  
トヲ得

第二條 世襲財產ハ總テ家督相續者ヲシテ之ヲ相續セシムルモノトス

第三條 世襲財產ハ左ニ掲ケル所ノ二類ニ限ル但第十五國立銀行株券ハ第二類  
ニ準シ世襲財產ト爲スコトヲ得

第一類 田畑山林宅地鹽田牧場池沼等

第二類 政府發行ノ公債證書又ハ政府ノ保證者クモ特別以監督ニ屬スル銀行  
株券若カハ會社株券

第四條 世襲財產ハ前條ニ類中ノ二種又ハ數種ニシテ其總額毎年金五百圓ニ下  
ラズナル純收益ヲ生ズル財產ト爲ルベシ但其財產中收益ヲ地所ヲ加フルニ妨ケ  
ラズ

第五條 世襲財產ノ所有者ハ特ニ世襲財產ニ屬スル建物庭園圖書寶器等ヲ以テ世襲財  
產ノ附屬物ト爲スコトヲ得

第六條 負債償却ノ義務アル財產ハ世襲財產及ヒ附屬物ト爲ルコトヲ得  
第七條 世襲財產ノ所有者ハ宮内大臣ノ認可ヲ得テ其財產ヲ增加スルコトヲ  
得

華族世襲財產法

第八條 世襲財產ノ所有者ハ宮内大臣ノ認可ヲ得テ第三類ノ財產ヲ更換シテ第一類ノ財產ト爲スコトヲ得但第一類ヲ第二類ト爲スコトヲ得ス

第九條 第一類ノ財產者シテ災害又ハ其他ノ事故ニ依リ第四條ノ制限額ヨリ減シタルトキハ五箇年以内ニ其缺額ヲ補充スヘシ

第十條 第三類ノ財產其元金ノ任拂ヲ受ケ初ルトキ益一箇年以内第一類又ハ第二類ノ財產ト爲シテ其缺額ヲ補充スヘシ

第十一條 世襲財產ノ所有者ハ其財產ノ純收益ヲ抵當トシテ負債ヲ爲スコトヲ得但毎年其純收益ノ三分一以上ノ償却ヲ爲スルキ義務ヲ負擔スルコトヲ得

第十二條 世襲財產ノ純收益ハ如何場合ト雖モ債主ヨリ毎年其三分一以上ヲ差押スルコトヲ得ス

第十三條 世襲財產及ヒ附屬物ハ之ヲ賣却讓與シ又ハ質入書入ト爲スルコトヲ得

第十四條 世襲財產及ヒ附屬物ハ負債ノ抵償トシテ差押フルコトヲ得ス

第十五條 世襲財產ハ左ノ場合ニ於テハ其效力ヲ失フモノトス

一 二十日主死亡以後家督相續スルキ男子ナキトキ  
二 爵ヲ奪ハレ又ハ族ヲ除カレ家督相續者ナキトキ

第十六條 第九條第十條ニ掲ケタル缺額ヲ其期限内ニ補充セザルキハ其缺額ノ額内ニ於テ其事務ヲ取扱ハシムルハ

第十七條 世襲財產ハ宮内大臣之ヲ管理シ華族局ヲシテ其事務ヲ取扱ハシムルハ

第十八條 華族局ハ世襲財產臺帳ヲ備ヘ置キ世襲財產及ヒ之ニ關スル事項ヲ記入スルヘシ

第十九條 世襲財產ヲ創設増加更換又ハ補充セシムル者ハ其願書ニ財產目錄ヲ添ヘ宮内大臣ニ差出シ其認可ヲ受ケルコトヲ得

第二十條 宮内大臣ハ前條ノ願書目錄ヲ審查シ第五類ノ財產及ヒ第二類ノ公債

華族世襲財產法



證書ハ所轄ノ地方廳ニ命シ株券ハ銀行若クハ會社ニ命シ世襲財產ト爲スハ其旨ヲ官報及ヒ其地方一定ノ新聞紙ニ掲ケ一週日間之ヲ公告セシムヘシ

世襲財產附屬物ハ華族局ニ於テ之ヲ公告スヘシ

第二十一條 前條公告後三十日ヲ經テ該財產ニ關シ故障ヲ申出ル者

ナキトキハ宮内大臣ハ世襲財產臺帳ニ記入セシメ第一類ノ財產ハ所轄ノ地方

廳ニ命シ地券臺帳ニ記入セシメ地方廳ハ戶長ニ命シ公證簿ニ記入セシムヘシ

第二類ノ公債證書ハ所轄ノ地方廳ニ株券ハ銀行若クハ會社ニ命シ帳簿ニ記入

セシムヘシ

華族局ニ於テハ該地券又ハ公債證書若クハ株券ノ券面ニ世襲財產ト爲リタル

旨ヲ記入スヘシ

第二十三條 世襲財產其效力ヲ失ヒタルトキハ宮内大臣ヨリ地方廳又ハ銀行若

クハ會社ニ命シ之ヲ公告セシムヘシ

世襲財產附屬物ハ華族局ニ於テ之ヲ公告スヘシ

第二十三條 第二十條及ヒ第二十二條ニ關スル公告費用ハ其財產所有者ヨリ之

ヲ華族局ニ納ムヘシ

第二十四條 世襲財產ニ關スル事件ヲ協議スルカ爲メ戶主及ヒ滿二十年以上ノ

親屬者若クハ後見人ト親屬三名以上ヲ以テ親屬會議ヲ組織シ豫メ宮内大臣

ニ届出ヘシ但親屬ナキトキハ宮内大臣ノ認可ヲ得テ一族又ハ他ノ華族ヲ以テ

親屬會議員ニ充ル得

第二十五條 世襲財產ニ關スル願書届書ハ親屬會議各員ノ連署ヲ要ス

第三十六條 此法施行ノ手續ハ宮内大臣之決定ニ依リ

第三十七條 此法ハ明治十九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●華族世襲財產法施行手續 (明治十九年五月二十二日)

勅令第三十四號第二十六條ニ據リ華族世襲財產法施行手續左ノ通り定ム

第一 華族世襲財產法施行手續

華族世襲財產法施行手續

第一條 世襲財產ニ關スル願書及ヒ届書ハ宮内大臣ニ宛華族局ニ差出スヘシ

第二條 世襲財產ノ創設ヲ願出ルルキハ地券公債證書又ハ株券ハ華族局ニ差

出シテ點檢ヲ受クヘシ其附屬物ハ華族局ノ指揮ニ依リ之ヲ差出シテ點檢ヲ受

ク又ハ華族局員ノ臨檢ヲ受クヘシ

世襲財產ノ増加ハ更換又ハ補充ヲ願出ルトキ亦同シ

第三條 前條差出タル物件ハ華族局ニ留置キ其願ヲ許否スルノ日ニ至リ下戻

スヘシ但時宜ニ依リ點檢ノ上直ニ下戻スルハ可ク然レバハ其後見人連署ノ

第四條 前代戸主ノ遺言ニ據リ世襲財產ノ創設ヲ願出ルトキハ其後見人連署ノ

上創設ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 法第五條ニ據リ世襲財產附屬物ト爲スヲ得ルキモ以テ左列各項ニ相當

スル物件ト別當相續ノ關係ヲ事得ル者ハ附屬物ト爲スルニ得ル

一 華族世ノモノ  
二 其家ニ由緒アリキモノ  
三 其家ニ由緒アリキモノ

一 觀古ノ參考トナルベキ貴重ノモノ

第六條 法第二十一條ニ掲グル日限ヲ經過シタルトキハ地方廳又ハ銀行若クハ

會社ハ直ニ該財產ニ關スル故障申立有無ヲ宮内大臣ニ上申スヘシ

第七條 宮内大臣ハ地方廳又ハ銀行若クハ會社ニ上申ニ據リ不都合ヲ認

ズルキハ法第二十一條ノ手續ヲ爲シ尙ホ華族局ヲシテ其旨ヲ官報ニ掲ケ公告

スルベシ

第八條 華族局ハ世襲財產ト別當相續ノ關係ヲ公債證書又ハ株券ノ各券面ニ爲

スル華族世襲財產ト印捺捺印番號及ヒ年月日ヲ記スルベシ

第九條 世襲財產ヲ創設スルニ依リテ豫メ相當ノ親屬會議員ヲ選定シテ届

出スル若シ親屬會議員中ニ華族中ヨリ選定スル者願出ヘシ其補缺又ハ

改選要ニ依リテ亦同シ

第十條 家督相續者世襲財產ヲ相續シタルトキハ地方廳又ハ銀行若クハ會社

ニ於テ地券公債證書又ハ株券ノ書換若クハ裏書收受ヲ認シ其旨ヲ届出ヘシ

第十二條 第一類ノ地目ヲ變換セシムルシ又ハ免租地ヲ有租地ニ爲サシムルシ或ハ  
華有租地ヲ免租地ニ爲サシムルシ若シハ開墾セシムルハ先シ宮内大臣以認  
可ヲ經テ一般ノ手續ニ遵フヘシ

第十三條 第一類ノ財產災害又ハ其他ノ事故ニ因テ其收入ヲ減シタルトキハ事  
業由利具シテ届出ヘシ其第三類ノ財產ニ於テ亦同シ

第十四條 第一類ノ財產公用ニ因テ預置ラレ又ハ第三類ノ財產元金ノ支拂ヲ受  
テ久シクシテ其金額ヲ驛遞局貯金預所公日本銀行又ハ第十五國立銀行ニ  
預ケ入レ其預金證書ヲ華族局ヲ經テ内藏寮ニ預ケ置キ其補充財產購求シ時ニ  
至テ下渡ヲ願出サシムル手續モ亦同シ

第十五條 世襲財產ニ關シ必要認認ニ依リテ公認ルルニキハ華族局員ヲ派遣シ該  
檢セシムルハ但時宜シ依リ地廳ニ命シ該廳官吏ヲシテ臨檢セシムルコトヲ  
豫メシテ該廳ニ通知スルコトヲ要ス

第十六條 世襲財產附屬物ヲ毀損亡失シ又ハ亡失シタルモノヲ發見シタルトキ  
ハ其事由ヲ届出ヘシ

第十七條 世襲財產其效力ヲ失ビタルトキハ法第二十二條ノ公告ヲ爲サシムル  
同時ニ其會社所有者及ハ親屬會議員ヲ選スルハ該會社對テ亦同シ

第十八條 前條ニ達シテ受ケタルモノハ直ニ地券公債證書又ハ株券ヲ華族局ニ  
差出シ其券面記入ノ取消ヲ受クヘシ

第十九條 法第二十條第二十二條ニ據リ公告ヲ爲シタルトキ地方廳又ハ銀行若  
シテ會社ハ其費用計算書ヲ以テ華族局ニ請求スルハ華族局ハ計算書ヲ取纏メ

第三十條 前條納金方ノ達テ受取ルル時ハ三日以内ニ納金證書ニ現金又ハ  
爲換手形ヲ添テ華族局ニ上納スルシ華族局ハ直ニ之ヲ地方廳又ハ銀行若シテ  
會社ニ送付スルコトヲ要ス

華族世襲財產法施行手続

第二十一條 遠隔ノ地方ニ在ル地方廳又ハ銀行若クハ會社ニ於テ公告ヲ爲シ所  
 有者其地方ニ在ル所ノ地方廳又ハ銀行若クハ會社ハ其費用計覽書ヲ以テ直  
 接ニ所有者ニ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ所有者ハ三日以内ニ之ヲ納付シ  
 其受取書ヲ納金證書ニ添付シ華族局ニ届出ヘシ

第二十二條 世襲財産ニ關スル諸願届出左ノ様式ニ準據スルシテ公告ヲ出サシ  
 第十(書式略)二十號第二十二號ニ準ジ公告セシメテ之ヲ納付スル事  
 並出シ其後而歸人ノ願出スル事

第十八 ● 地所名稱區別 (明治七年十一月七日) 第百五十五號布告  
 明治六年(三月)第百十四號布告地所名稱區別左ノ通改定候條此旨布告候事

官有地 世襲地 其後而歸人ノ願出スル事  
 第二十種 地券ヲ發セシメ地租ヲ課セシメ地方稅ヲ賦セサルヲ法トス(十二年第  
 第十六號 卅三十四號布告ヲ以テ區入費ヲ(地方稅)ト改ム) 第百五十五號布告

一 皇宮地 皇居離宮等ヲ云フ 第百五十五號布告  
 一 神社 伊勢神宮山陵官國幣社府縣社及ヒ民有ニアラサル社地ヲ云フ

第二種 地券ヲ發シ地租ヲ課セシメ地方稅ヲ賦セサルヲ法トス尤府縣所用ノ  
 地ハ地券ヲ發セシメ唯帳簿ニ記入ス(八年第百十四號布告ヲ以テ改  
 定) 正十二年第三十四號布告ヲ以テ區入費ヲ賦セシメ(地方稅ヲ賦  
 課)セサル(ト改ム)

- 一 官地 但此地ニ在ル官舎或ハ貸渡ス時ハ借地料ヲ賦スヘシ
- 一 皇族賜邸 皇族ノ邸宅ヲ云フ
- 一 官用地 官院官使寮司府藩縣(本支)廳裁判所警視廳陸海軍(本分)營其  
 他官署並ニ他政府ノ許可ヲ得タル所用ノ地ヲ云フ

第三種 地券ヲ發セシメ地租ヲ課セシメ地方稅ヲ賦セサルヲ法トス  
 一 官地 但人民ノ願ニヨリ右地所ヲ貸渡ス時ハ其間借地料ヲ納メシムヘ  
 シ(十二年第三十四號布告ヲ以テ(借地料)ノ下(及ヒ)以下十字  
 一 官有地(納金)シムヘシ)ト改メ本文(區入費)ヲ(地方稅)ト改ム

地所名稱區別

- 一 山岳丘陵林藪原野河海湖沼池澤溝渠堤塘道路田畑屋敷等其他民有地ニアラサルモノニテ事業主ノ國籍亦モ以テ各該地ノ所有權ノ行使ノ限リ
- 一 鐵道線路敷地ノ屬ニテハ各該地ノ所有權ノ行使ノ限リ
- 一 電信架線柱敷地ノ屬ニテハ各該地ノ所有權ノ行使ノ限リ
- 一 燈明臺敷地ノ屬ニテハ各該地ノ所有權ノ行使ノ限リ
- 一 各所ノ舊跡名區及モ公園等民有地ニシテ該地ノ所有權ノ行使ノ限リ
- 一 人民所有ノ權理ヲ失セシ土地
- 一 民有地ニテモサテ堂宇敷地及モ墳墓地並モ該地ノ所有權ノ行使ノ限リ
- 一 行刑場
- 第四種 地券ヲ發シテ地租課課セシ地方稅ヲ賦セサルヲ法トス(同上(區別)ノ發シ賦セサル)ヲ(地方稅ヲ賦セサル)ニ改メ(百十四號布告)モ以テ(區別)ニテ寺院中小學校教場病院醫院等民有地ニアラサルモノヲ武藏國御用ノ民有地

第一種 地券ヲ發シテ地租課課シ地方稅ヲ賦スルヲ法トス(同上(區入費)ヲ

第二種 官有(地方稅)ト改メ

一 人民各自所有ノ權證アル耕地宅地山林等ヲ云

但此地賣買ハ人民各自ノ自由ニ任スト雖モ濫シ地開墾等ノ如キ大ニ地

官形ヲ變換スルハ官ノ許可ヲ乞フテ法トス

一 人民數人或ハ一村或ハ數村所有ノ權證アル學校病院郷倉牧場林場社寺

等官有地ニシテ(元第二種)處九年第八十號布告ヲ以

テ第一種ニ合ス

但此地賣買ハ其所有者一般ノ自由ニ任スト雖モ濫地或ハ開墾等ノ如

一 官有(地方稅)ト改メ

第二種 地券ヲ發シテ地租地方稅ヲ賦セサルヲ法トス(八年第百十四號布

告)夫以テ第三種ヲ改正シ九年第八十八號布告ヲ以テ第二種ト改メ

一 官有(十二年第三十四號布告)ヲ以テ(區入費)ヲ(地方稅)ト改メ



第四 右に掲げる物件は三年以内

第八條 官有財産ノ貸付期限中政府ニ於テ之ヲ國ノ使用ニ供スルノ必要アルトキハ貸付ノ契約ヲ解キ之ヲ返還セシムル得  
前項ノ場合ニ於テ借受人ハ其ノ直接ニ受ケタル損失ニ付賠償ヲ求ムルコトヲ得

第九條 官有財産ノ借受人ニシテ主管大臣ノ許可ヲ得ズシテ其ノ財産ノ原形ヲ變シ若ハ故意怠慢ニ由リ之ヲ荒廢ニ歸シ又ハ毀損亡失シタルトキハ主管大臣ハ其ノ損失ヲ賠償セシムル得

第十條 官有財産ノ借受人ハ主管大臣ノ許可ヲ得ルニアラサレハ其ノ財産ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得ズ  
第十一條 官有財産ヲ以テ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ルハ同一種類ノ財産ニシテ少クテ其ノ評定價格相均キモノニ限ル  
森林、原野、田畑ハ同一種類ノ財産ト見做スコトヲ得

營造物、家屋、船舶及其ノ附屬物ハ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ス

第十二條 府縣郡市町村公共沙道路、公園、市場、河川並木敷、堤塘、溝渠等  
ノ用に供スル爲官有ノ土地森林等必要ナルモノハ主管大臣ニ於テ之ヲ其ノ府縣郡市町村ニ讓與スルコトヲ得

第十三條 府縣郡市町村ニ於テ新ニ道路、公園、市場、河川並木敷、堤塘、溝渠等ヲ開設シ爲ニ不用ニ歸シタル官有沙葎同種類ノ土地ハ内務大臣ニ於テ其ノ府縣郡市町村ニ讓與スルコトヲ得但シ官林内若ハ官廳使用地内ニ包含セル

第十四條 官有財産ヲ賣拂貸付若ハ交換スル場合ニ於テ其ノ財産ヲ管理シ若ハ其ノ取扱ヲ爲シ官吏ハ之ヲ買受ルコトヲ得但シ所有物ト交換スルコトヲ得ス

第十五條 此ノ規則施行ノ前ニ官有財産ノ賣拂若ハ貸付ノ契約ヲ爲シ或ハ其ノ貸付ノ期限ヲキモシハ此ノ規則施行ノ日ヨリ三箇年以内ニ於テ此ノ規則ニ依  
官有財産管理規則





第三條 各廳ニ於テ官有地ヲ使用セシムルトキハ内務大臣ニ請求スヘシ

第四條 各廳ニ於テ官有地ノ使用ニ關シテ内務大臣ニ選付スヘシ

第五條 甲乙兩廳ノ間ニ於テ官有地ノ使用ヲ移サントスルトキハ内務大臣其手續ヲ爲スヘシ

第六條 各廳ノ所用ニ供スル爲メ民有地ヲ寄付セントスルモノアルトキハ内務大臣受納ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 官有地ヲ開墾セシムルコトヲ請フモノアルトキハ無料ニテ之ヲ貸付スヘシ

但開墾成功ノ後事業者ニ於テ該地ヲ拂下ケントスルトキハ豫メ契約ニ依テ其代價ヲ定メ置クヘシ

第八條 官有地ノ民有地ニ交換スル地ノ坪數及價格相均シキモノニ限リテ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第九條 借地人ハ特ニ許可ヲ受ケルニテ之ヲ得ルコトヲ得ルニテ其地ヲ當初借用ノ目的以外ニ使用スルコトヲ得ズ

借地人前項ノ規定ニ違反スルトキハ地方長官ハ其使用ヨリ生シタル損害ヲ賠償セシメ返地ヲ命スルコトヲ得

第十條 借地人官ノ許可ヲ得テ土地ノ原形ヲ變シタルトキハ借地満期ニ至リ自費ヲ以テ之ヲ原形ニ復シ返納スルコトヲ得

第十一條 官ニ屬スル公有地及公有水面ハ其公用ヲ廢シタルニアラサレハ賣拂讓與交換又ハ貸付スルコトヲ得

第十二條 官ニ屬スル公有水面ヲ埋立テ民有地ト爲サンコトヲ請フモノアルトキハ公衆ノ妨害トナラサル部分ニ限リテ之ヲ許スコトヲ得

第十三條 官ニ屬スル私有水面ノ賣拂讓與交換貸付及使用ハ本令ニ定ムル土地ノ規定ニ準據スヘシ

第十四條 隨意ノ契約ニ依リ官ニ屬スル土地又ハ水面ノ賣拂讓與交換又ハ有料官有地取扱規則





所市町村長ニ通知スヘシ市町村長ハ之ヲ公告シ又ハ其ノ土地占有者ニ通知  
スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知  
スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

取内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知  
日出前日没後取内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ土地占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

第十一條 第九條ノ規定ニ依リ測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ起業者ハ行政  
廳ノ許可ヲ得テ障害物ヲ除却スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

前項ノ規定ニ依リ障害物ノ除却ヲ爲ス場合ニ於テハ起業者ハ三日前ニ其ノ所  
在者及占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

第三章 事業ノ認定

第十二條 土地ノ收用又ハ使用スルノ限ニ於テハ起業者ハ内閣之ヲ認定ス但シ軍機

第十二條 起業者ハ内閣ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ

地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ申請スヘシ内務大臣ハ之ヲ審査シ内閣ニ提出  
スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

宮内省又ハ内閣ノ起業者ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫書及圖面  
ヲ添ヘ内務大臣ニ協議ヲ爲シ之ヲ内閣ニ提出スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

第十四條 内閣ハ認定ヲ爲シタルトキハ起業者及事業ノ種類並起業地ヲ公告ス  
其ノ公告ハ内閣ノ官報ニ公告スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

第十五條 天災事變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ郡市長  
公其ノ事業ノ認定ヲ爲スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

前項ノ使用ノ期間ハ六箇月ヲ超スルコトヲ得ル軍事上臨時急施ヲ要スル事業  
ノ爲土地ヲ使用スルトキハ主務大臣ハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ郡市長ニ通知  
スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

第十六條 起業者ハ郡市長ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業ノ種類、使用スヘ  
キ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ定メ郡市長ニ申請スルノ限ニ於テハ其ノ土地占有者ニ通知

土地收用法 事業ノ認定



第三十二條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲メ土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ但シ軍機ニ關スル事業ニ付テハ前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ起業者ハ收用審査會ノ裁決ヲ求ルルコトヲ得

第三十三條 收用審査會ノ裁決ヲ求メムトスルトキハ起業者ハ其ノ申請書ニ左

- 一 掲ケタル書類ヲ添ヘ地方長官ニ差出スヘシ但シ軍機ニ關スル事業ニ付テハ事業計畫書及圖面ヲ添フルコトヲ要セス
- 二 市區町村別ニ左ノ掲ケタル事項ヲ記載シタル書類ヲ添フコトヲ要ス

一 市區町村別ニ左ノ掲ケタル事項ヲ記載シタル書類ヲ添フコトヲ要ス  
 一 收用又ハ使用スベキ土地ノ番號及地目收用又ハ使用スベキ土地ノ面積  
 二 土地ノ種類及用途  
 三 土地ノ位置  
 四 土地ノ所有者ノ姓名  
 五 土地ノ取得ノ時期  
 六 土地ノ用途  
 七 土地ノ面積  
 八 土地ノ種類  
 九 土地ノ位置  
 十 土地ノ所有者ノ姓名  
 十一 土地ノ取得ノ時期  
 十二 土地ノ用途  
 十三 土地ノ面積  
 十四 土地ノ種類  
 十五 土地ノ位置  
 十六 土地ノ所有者ノ姓名  
 十七 土地ノ取得ノ時期  
 十八 土地ノ用途  
 十九 土地ノ面積  
 二十 土地ノ種類  
 二十一 土地ノ位置  
 二十二 土地ノ所有者ノ姓名  
 二十三 土地ノ取得ノ時期  
 二十四 土地ノ用途  
 二十五 土地ノ面積  
 二十六 土地ノ種類  
 二十七 土地ノ位置  
 二十八 土地ノ所有者ノ姓名  
 二十九 土地ノ取得ノ時期  
 三十 土地ノ用途  
 三十一 土地ノ面積  
 三十二 土地ノ種類  
 三十三 土地ノ位置  
 三十四 土地ノ所有者ノ姓名  
 三十五 土地ノ取得ノ時期  
 三十六 土地ノ用途  
 三十七 土地ノ面積  
 三十八 土地ノ種類  
 三十九 土地ノ位置  
 四十 土地ノ所有者ノ姓名  
 四十一 土地ノ取得ノ時期  
 四十二 土地ノ用途  
 四十三 土地ノ面積  
 四十四 土地ノ種類  
 四十五 土地ノ位置  
 四十六 土地ノ所有者ノ姓名  
 四十七 土地ノ取得ノ時期  
 四十八 土地ノ用途  
 四十九 土地ノ面積  
 五十 土地ノ種類  
 五十一 土地ノ位置  
 五十二 土地ノ所有者ノ姓名  
 五十三 土地ノ取得ノ時期  
 五十四 土地ノ用途  
 五十五 土地ノ面積  
 五十六 土地ノ種類  
 五十七 土地ノ位置  
 五十八 土地ノ所有者ノ姓名  
 五十九 土地ノ取得ノ時期  
 六十 土地ノ用途  
 六十一 土地ノ面積  
 六十二 土地ノ種類  
 六十三 土地ノ位置  
 六十四 土地ノ所有者ノ姓名  
 六十五 土地ノ取得ノ時期  
 六十六 土地ノ用途  
 六十七 土地ノ面積  
 六十八 土地ノ種類  
 六十九 土地ノ位置  
 七十 土地ノ所有者ノ姓名  
 七十一 土地ノ取得ノ時期  
 七十二 土地ノ用途  
 七十三 土地ノ面積  
 七十四 土地ノ種類  
 七十五 土地ノ位置  
 七十六 土地ノ所有者ノ姓名  
 七十七 土地ノ取得ノ時期  
 七十八 土地ノ用途  
 七十九 土地ノ面積  
 八十 土地ノ種類  
 八十一 土地ノ位置  
 八十二 土地ノ所有者ノ姓名  
 八十三 土地ノ取得ノ時期  
 八十四 土地ノ用途  
 八十五 土地ノ面積  
 八十六 土地ノ種類  
 八十七 土地ノ位置  
 八十八 土地ノ所有者ノ姓名  
 八十九 土地ノ取得ノ時期  
 九十 土地ノ用途  
 九十一 土地ノ面積  
 九十二 土地ノ種類  
 九十三 土地ノ位置  
 九十四 土地ノ所有者ノ姓名  
 九十五 土地ノ取得ノ時期  
 九十六 土地ノ用途  
 九十七 土地ノ面積  
 九十八 土地ノ種類  
 九十九 土地ノ位置  
 一百 土地ノ所有者ノ姓名  
 損失補償ノ見積金額及内訳

收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

土地所有者及關係人ノ姓名、住所

收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條 前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ之ヲ市町村長ニ下付スヘシ

第二十五條 土地所有者及關係人ハ前條條覽期間ノ初日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ意見書ヲ差出スルコトヲ得

第二十六條 地方長官ハ前條ノ期間ヲ經過シタル後收用審査會ヲ開クヘシ

第二十七條 收用審査會ハ開會ノ日ヨリ一週間内ニ裁決ヲ爲スヘシ但シ地方長官ハ必要ヲ認ムルトキハ二週間内ノ延期ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 收用審査會カ前條ノ期間内ニ裁決ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ事情具シ内務大臣ノ指揮ヲ請フベシ内務大臣ハ收用審査會ニ一定ノ期間内ニ

土地收用法 收用ノ手續

裁判官ノ命シ又ハ之ニ代テ裁判官ヲ爲スルコトヲ地方長官ニ命  
スルコトヲ得

收用審査會ノ前項ノ期間内ニ裁判官ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ之ニ代テ裁判  
官ヲ爲スベシ

第二十九條 收用審査會ヲ召集スルニ應ゼス又ハ成立セザル以テ地方長官ハ内務  
大臣ノ認可ヲ得テ之ニ代テ裁判官ヲ爲スコトヲ得事業ノ急施ヲ要スルトキ亦同  
シ

第三十條 收用審査會ガ裁判官ヲ爲シ知ルルキ其ガ裁判官ノ職務ヲ添ヘ地方長  
官ニ報告スベシ

第三十一條 前條ノ報告ヲ受ケ又ハ收用審査會ニ代テ裁判官ヲ爲シタルトキハ地  
方長官ハ裁判官ノ職務ヲ起業者ニ土地所有者及關係人ニ送達スベシ

第三十二條 軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認定シタル事業ノ施行ニ因リテ必要  
ナ生シタル道路ノ堤防其ノ他公用ニ供スル工作物ノ新築、改築又ハ増築ノ爲

土地ヲ收用又ハ使用スルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ直ニ本章ノ規定ニ依ル  
コトヲ得

第三十三條 郡市長カ認定ヲ爲シ又ハ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ  
第十七條ノ通知ノ後起業者ヲシテ直ニ其ノ土地ヲ使用セシムルコトヲ得但シ

損害ノ補償ニ關シテハ本法ノ規定ニ依ルベシ

第三十四條 起業者カ第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後一箇年内ニ收用  
審査會ノ裁判官ヲ求メサルトキハ其ノ公告又ハ通知ノ効力ヲ失フ

第三十五章 收用審査會  
第三十五條 收用審査會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ左ニ掲ケタル事項ヲ定メテ收  
用又ハ使用ノ裁判官ヲ爲スベシ

第三十六條 收用又ハ使用ノ裁判官ヲ爲スルニ應ジテハ其ノ裁判官ノ職務ヲ  
起業者ニ通知スベシ

第三十七條 收用又ハ使用ノ時期ノ期間  
土地收用法 收用審査會

起業者ノ申請カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ違反スルトキハ  
收用審査會ハ却下ノ裁決ヲ爲スヘシ

第三十六條 收用審査會ハ會長一人委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十七條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ議事其ノ他ノ會務ヲ統理シ會ヲ代

表ス

第三十八條 委員ハ高等文官及府縣名譽職參事會員各三人ヲ以テ之ニ充ツ

高等文官ニシテ委員タルハキ者ハ内務大臣之任命シ府縣名譽職參事會員ニシ

テ委員タルハキ者ハ其ノ互選トシ其ノ委員ハ公選又ハ府縣長官ノ任命シ内務大臣

第三十九條 收用審査會ハ委員半數以出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ

得ズ

收用審査會ハ議事ハ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルハ臨時會長ヲ決スル所ニ

依ル

第四十條 委員カ起業者、土地所有者又ハ關係人ナルトキハ收用審査會ノ議事

ニ參與スルコトヲ得ス

委員カ起業者、土地所有者若ハ關係人ノ配偶者、四親等内ノ親族、戸主、家

族、代理人及保佐人ナルトキ又ハ起業者、土地所有者若ハ關係人タル市町村

ノ市參事會員、町村長、合名會社ノ社員、合資會社及株式合資會社ノ無限責

任社員、株式會社ノ取締役及監查役其ノ他法人ノ理事及監事ナルトキ亦前項

ニ同シ

本條ノ規定ニ依リ委員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ地方長官

ハ左ニ掲ケタル順序ニ從ヒ其ノ本條ノ規定ニ牴觸セサル者ノ内ヨリ臨時ニ指

定シテ之ヲ補充スヘシ

一 府縣名譽職參事會員

二 府縣名譽職參事會員ノ補充員

三 府縣會議員

第四十一條 收用審査會ノ裁決ハ起業者、土地所有者及關係人ノ申立タル範圍

土地收用法 收用審査會



第四十二條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ヒ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

前項以鑑定人ニ付テハ第四十條ノ規定ヲ適用ス

第四十三條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ起業者、土地所有者又ハ關係人ヲ呼出シ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第四十四條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ會長之ニ署名捺印後以

第四十五條 鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得

第四十六條 二府縣以上ニ涉ル事業ニ係ルトキハ關係地方長官ハ勅令ノ定ムル

所ニ從ヒ合同シテ收用審査會ヲ開クコトヲ得

第六章 損失ノ補償

第四十七條 土地所有者及關係人ノ受クル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

損失ノ補償ハ各人別ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ各人別ニ見積リ難キト時ハ此ノ

第四十八條 收用スヘキ土地物件ニ付テハ相當ノ價格ニ依リ其ノ損失ヲ補償ス

使用スヘキ土地ニ付テハ其ノ土地及近傍類地ノ料金ニ依リ其ノ損失ヲ補償ス

第四十九條 土地ノ一部ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他

殘地ニ關シ損失ヲ生ズヘキトキハ其ノ損失ヲ補償ス

第五十條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用井タル目的ニ供スルハ

土地收用法 損失ノ補償

第五十一條 收用又ハ使用ニ付キ土地ニ在ル物件ハ移轉料ヲ補償シテ移轉セシムヘシ但シ物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サルハ從來用掛タル目的ニ供スル能ハサルキハ所有者於其ノ全部ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ物件ヲ移轉スルニ因リテ從來用非タル目的ニ供スルコト能ハサルキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條 前條ノ移轉料ニシテ其ノ物件ノ相當價格ヲ超ユル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十三條 土地ヲ收用又ハ使用ニ因リテ道路、溝渠、塙柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増築又ハ修繕ヲ爲ス必要ヲ生スルハ其ノ費用ヲ補償スヘシ

第五十四條 前數條ニ規定シタルモノノ外土地ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十五條 土地ノ使用カ三箇年以上ニ亘ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルキ若ハ使用スヘキ土地ニ建物アルトキハ所有者ハ其ノ土地ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十六條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後行政廳ノ許可ヲ得シテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタル土地所有者又ハ關係人ハ之ニ關スル損失ノ補償ヲ請求スルコトヲ得

第五十七條 第九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ土地ニ立入り測量検査又ハ調査ヲ爲スニ因リテ他人ニ及ボシタル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

第五十八條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十九條 前二條ノ補償ニ付キ協議調ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十一條及第四十一條乃至第四十五條ノ規定ヲ

土地收用法 損失ノ補償

第六十條 起業者が收用又は使用の時期迄に補償金を拂渡スヘシ

左に掲ケタル場合ニ於テハ補償金を供託スルコトヲ得

- 一 補償金を受クヘキ者カ其ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ之ヲ受領スルコト能ハサル
- 二 起業者カ過失ナクシテ補償金を受クヘキ者ヲ確知スルコト能ハサルト
- 三 起業者カ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アルトキ但シ

補償金ヲ受クヘキ者ノ請求アルトキハ起業者ハ自己ノ見積金額ヲ拂渡ス

四 起業者カ補償金拂渡シ差押又ハ假差押ヲ受ケタルトキ

又ハ物件ヲ移轉スヘシ但シ左ニ掲ケタル場合ニ於テハ起業者ノ請求ニ依リ市町村長ハ土地所有者及關係人ニ代ルモノトス

- 一 土地所有者及關係人カ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スルコト能ハサル
- 二 起業者ハ過失ヲシテ土地所有者及關係人ヲ確知スルコト能ハサル

第六十二條 起業者カ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲サザルニキハ收用審査會ノ裁決ハ其ノ效力ヲ失フ但シ土地所有者及關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケズ

第六十三條 土地物件ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地收用法 收用ノ效果

ニ在テハ...

第六十四條 収用審査會ノ裁決ノ後収用又ハ使用スヘキ土地物件ガ土地所有者

又ハ關係人ノ責ニ歸スヘカラサレ事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其

第六十五條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ収用又ハ使用ニ因リテ

債務者ガ受ケヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ハ拂渡前ニ差押

第六十六條 収用ノ時期ヨリ二十箇年内ニ事業ノ廢止其ノ他ノ事故ニ因リテ收

用シタル土地ノ全部又ハ一部ガ不用ニ歸シタルトキハ舊所有者又ハ其ノ相繼

入ハ補償價格ヲ以テ之ヲ買受ルコトヲ得但シ第五十條ノ規定ニ依リテ収用シ

タル殘地ハ其ノ接續部分ハ不用ニ歸シタル時ニ非サバ之ヲ買受ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買受ハ第三者ニ對シテモ其ノ效力ヲ存ス

第一項ノ期間内ニ於テ収用シタル土地ヲ他ノ軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認

定シタル事業ニ供スルトキハ不用ニ歸シタルモノト看做サス

第六十七條 前條ノ不用ノ土地アルトキハ起業者ハ舊所有者又ハ其ノ相繼入ニ

通知スヘシ但シ起業者ハ過失ヲクシテ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ少ク

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二箇月内又ハ第三回ノ公告終了ノ日ヨリ六箇月

内ニ舊所有者又ハ其ノ相繼入ガ買受ノ通知ヲ爲ササルトキハ其ノ權利ヲ失

第八節 費用ノ負擔

第六十八條 起業者ハ土地所有者及關係人ガ本法又ハ本法ニ基キテ發シタル命

令ニ規定シタル手續其ノ他ノ行為ヲ爲シ又ハ義務ヲ履行スル爲ニ要シタル費

用ハ各其ノ負擔トス

第六十九條 収用審査會ニ要シタル費用ハ命令ヲ以テ別ニ負擔者ヲ定メタル也

土地收用法 費用ノ負擔

四十七

第六十條 外府縣ノ負擔トス 第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テ亦同

第七十二條ノ規定ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ取消シタル場合ニ於テ更ニ開テ  
第七十三條ノ規定ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ取消シタル場合ニ於テ更ニ開テ  
第七十四條ノ規定ニ依リ私人ノ負擔スヘキ費用ヲ支出セサル者アルトキ  
第七十五條ノ規定ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

第七十條 第七十三條第一項ノ規定ニ依リ地方長官カ義務者ノ爲スヘキ事項ヲ  
自ラ執行シ又ハ他人ヲシテ執行セシメタル爲ニ要シタル費用ハ府縣ノ負擔ト  
府縣ハ前項ノ費用ヲ各其ノ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得但シ其ノ義務者ノ受  
領ニヘキ補償金以テ之ヲ充ツルコトヲ得

第七十一條 土地所有者又ハ關係人ノ負擔スヘキ費用ハ第六十一條但書ノ場合  
ニ於テハ市町村ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九章 監督、強制及罰則

第七十二條 收用審査會カ其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ノ規定ニ違反シテ爲シタル  
裁決ハ内務大臣之ヲ取消スコトヲ得

第七十三條 義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令以規定ニ依ル義務ヲ  
履行セズ又ハ之ヲ履行スルニ一定ノ期間内ニ終了スル見込ナキハ地方長  
官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セサル  
場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ地方長官ハ直接ニ之ヲ強制  
履行スルコトヲ得

第七十四條 前章ノ規定ニ依リ私人ノ負擔スヘキ費用ヲ支出セサル者アルトキ  
該行政廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ニ付テハ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス  
第七十五條 收用審査會員ハノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタルト  
土地收用法 監督、強制及罰則 四十九

年キハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其ノ賄賂ヲ贈與シ又  
 賄賂與スルコトヲ約シタル者亦同シ  
 第七十六條 第十條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ障害物ヲ除却シ  
 得タル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
 第七十七條 第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ニ  
 立入りタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス  
 第七十八條 第六條又ハ第七條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ニ  
 立入りタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス  
 第七十九條 鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者ハ詐偽ノ陳述ヲ爲シ又  
 其ノトキハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス賄賂其ノ他ノ方  
 法ヲ以テ人ニ囑託シテ詐偽ノ鑑定ヲ爲サシメタル者亦同シ  
 第八十條 鑑定人又ハ第四十三條第二項若ハ第五十九條ノ規定ニ依リ呼出テ受  
 ケタル者故ナラ出頭セザルハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十章 訴願及訴訟

第八十一條 收用審査會ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコト  
 得ル  
 收用審査會ノ違法裁決ニ由リ權利ヲ傷害セラレタル者ハ行政裁判所ニ  
 出訴スルコトヲ得ル  
 前二項ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二週間ヲ  
 經過シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス  
 本法及規定ニ依リ通常裁判所ニ出訴ヲ許シタル事項ニ關シテハ訴願又ハ行政  
 訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス  
 第八十二條 收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁  
 判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三箇月ヲ經  
 過シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ  
 前項ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得ス  
 土地收用法 訴願及訴訟 五十一

第五十九條ノ規定ニ依ル地方長官ノ決定ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第八十三條 本法ノ規定ニ依ル訴訟ハ事業ノ進行及土地ノ收用又ハ使用ヲ停止セズ

第八十四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第八十五條 明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本法ノ規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス

明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用シタル土地ニ關シテハ第六十六條ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス  
明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ現ニ國有タル土地ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本條ノ規定ヲ準用ス  
第八十六條 收用審査會ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テハ地方長官之

ナ行フ

郡長ノ爲スヘキ職務ハ支廳長又ハ島司ヲ置キタル地ニ於テハ支廳長又ハ島司之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ヲ置カサル地ニ於テハ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

市長ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テ區長ヲ置キタル地ニ於テハ區長之ヲ行フ

町村長ノ爲スヘキ職務ハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ町村長ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ郡長ニ準スヘキ吏員

之ヲ行フ  
第八十七條 明治二十二年勅令第五號東京市區改正土地建物處分規則其ノ他別段ノ定アルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

第八十八條 明治二十二年法律第十九號土地收用法明治二十三年法律第五十四

土地收用法 附則

五十三

號土地收用協議會規則及明治三十三年法律第七十二號之法律廢止各條第十四

第六十條 土地收用法施行令 (明治三十三年三月三十日) 勅令第九十九號(號) 附則其、附則

朕土地收用法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 土地收用法施行令ニ依リテ施行スル事項ニ關シテハ本法ニ準ジテ之ヲ行フ

第二條 土地收用法第九條第三項及第十條第一項ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ市町村長之ヲ行フ

第三條 土地收用法第九條第十一條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ起業者ノ爲土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却スル者ハ其ノ證票ヲ携帯スヘシ  
日出前日没後邸内ニ立入ル者又ハ障害物ヲ除却スル者ハ行政廳ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第三條 起業者カ内閣ノ認定ヲ受ケタル場合ニ於テ起業地内ニ左ニ掲グル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調査及圖面ヲ申請書ニ添付スヘシ

一 御陵墓地及御料地

二 國有地

第三條 現ニ公用ニ供スル土地ニ關シテハ本法ニ依リテ之ヲ收用スル事ヲ得ズ

第四條 社寺境内地及古墳墓ノ地ニ關シテハ本法ニ依リテ之ヲ收用スル事ヲ得ズ

第五條 名所舊蹟及古墳墓ノ地ニ關シテハ本法ニ依リテ之ヲ收用スル事ヲ得ズ

第四條 土地收用法第十四條ノ規定ニ依リテ公告官報ヲ以テ之ヲ爲スルハ

第五條 内閣ノ認定ヲ公告以後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地收用法第十

九條ノ申請書爲スル必要ナキニ至リタ限トキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出

スヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告スヘシ

第六條 土地收用法第二十一條ノ規定ニ依リ調査書ヲ作りタル者ハ之ニ署名又ハ

捺捺印スヘシ

第七條 土地收用法第二十四條ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタルトキハ市町村長ハ

土地收用法施行令



第六條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケムトスル者

ノ工事計畫書及圖面ヲ添ヘ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シ出願スヘシ

一 工事ノ種類

二 收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目

三 其ノ必要ヲ生セシメタル事業トシテ關係

本條ノ場合ニ於テハ第三條ノ規定ヲ準用スル

第九條 土地收用法第三十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ與ヘタルトキ地方長官ハ

收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ト共ニ起業者及工事ノ種類ヲ公告シ又ハ之ヲ

出地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十條 土地收用法第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後事業ヲ廢止變更シ

タルニ因リテ土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ

之ヲ地方長官ニ届出スヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告シ又ハ土地所有者及關係人ニ

通知スヘシ

第十一條 收用審査會會長及委員ニハ旅費ヲ支給ス

第十二條 收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費額及其ノ支給方

法ハ内閣旅費規則ノ定ムル所ニ依リ

高等文官ニ非シテ委員ノ旅費額及其ノ支給方法ハ府縣制第九十四條ノ規定ニ

從ヒテ定ムル所ニ依リ

第十三條 鑑定人及事實參考人ノ旅費額ハ左ノ範圍内ニ於テ收用審査會ノ定ム

ル所ニ依リ

一 汽車賃一哩ニ付三錢以上六錢以下

二 船賃一海里ニ付三錢以上六錢以下

三 車馬賃一里ニ付十錢以上三十錢以下

通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ヲ以テ旅費ヲ算定ス

範圍内ニ於テ

土地收用法施行令

五十七

第十四條 鑑定入及事實參考入ノ手當ハ一日金二圓乃至五圓ノ範圍内ニ於テ收  
用審査會決定ムル所ニ依ル

鑑定ヲ爲スニ付數多ク時間又ハ特別ノ技能者ハ費用ヲ要スルトキハ前項ノ手  
當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給スル得

第十五條 土地收用法第五十九條ノ規定ニ依リ地方長官カ決定ヲ爲シタル場合

第十七條 土地收用法第五十六條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行  
フ但シ物件ノ附加増置ニ關涉部分之ヲ郡市長委任該郡市長得

第十八條 土地收用法第七十四條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ同法第七十二條  
ノ場合ニ於テハ市町村長之ヲ行ヒ其ノ他ノ場合ニ於テハ地方長官之ヲ行フ

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

土地收用法第六條ニ基ツキテ發スル命令ノ件

土地收用法第六條ニ基ツキテ發スル命令ノ件  
（明治三十三年三月三十日）

第六條 本令ハ土地收用法又ハ土地收用法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル  
期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテ之ヲ適用ス

第七條 期間ヲ定ムルニ時ヲ以テシタル則チ即時ヨリ之ヲ起算ス末日ヲ以テ  
第三條ニ期間ヲ定ムルニ日ヲ以テシタル則チ月又ハ年ヲ以テシタルトキハ期間ノ初日ニ之

ヲ算入セス但シ其ノ期間ガ午前零時ヨリ始マルトキハ此以限ラズ在ラズ  
前項ノ場合ニ於テハ期間ノ末日ノ終了ヲ以テ期間ノ満了トス

第四條 期間ノ末日カ大祭日、日曜日ニ當ルトキハ期間ハ其ノ翌日ヲ以テ満了  
ス但シ行政廳ニ對スル期間ハ其ノ末日カ行政廳ノ休日ニ當ルトキハ其ノ休日

土地收用法第六條ニ基ツキテ發スル命令ノ件 五十九

シ終了シタル翌日ヲ以テ満了スル。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

第五條 期間ヲ定ムルニ週ノ月又ハ年ヲ以テシタル下キハ歷ニ從ヒテ之ヲ算

以テ算ス。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

週ノ月又ハ年ヲ始メ同月同期間ヲ起算セサルトキハ其ノ期間ノ最後ノ週ノ月又

年ニ於テ其ノ起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ満了ス。但シ月又ハ年ヲ以テ

算期間ヲ定メタル場合ニ於テ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其ノ月ノ末日ヲ以テ

満了ス。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

第六條 土地收用法第十八條第二十五條及第三十四條ノ期間ハ郵便ニ依リ書類

ヲ差出シタル場合ニ於テハ其ノ遞送ニ要スル日時ヲ算入セズ。但シ内務大臣カ定メタル場合ニ於テハ

第七條 通知ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ内務大臣カ定メタル場合ニ於テハ

口頭ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

第八條 書類ノ送達ニシテ送達者自ラ送達セサル場合ニ於テハ使丁又ハ書留郵

便ニ依ルコトヲ得。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

第九條 數人カ一人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其ノ代理人ニ爲スヘキ送達ハ

一通ノ書類ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

一人カ數人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其ノ代理人ニ爲スヘキ送達ハ其ノ一

人ニ之ヲ爲スコトヲ得。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

第十條 委任ニ因ル代理人アル場合ニ於テ其ノ委任者ニ爲シタル送達ハ其ノ

效力ヲ妨グズ。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

第十三條 無能力者ニ對スル送達ハ其ノ法定代理人ニ之ヲ爲スヘシ但シ委任ニ

因ル代理人アルトキハ此ノ限ニ在ラス。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

法人又ハ組合ニ對スル送達ハ其ノ代表者又ハ業務執行者ニ之ヲ爲スヘシ但シ

前項ノ代表者又ハ業務執行者數人アル場合ニ於テハ送達ハ其ノ一人ニ之ヲ爲

スベシ。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

組合ニシテ業務執行者ヲ定メサル場合ニ於テハ送達ハ其ノ組合員ノ一人ニ之

ヲ爲スコトヲ得。其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日ニ當リテ其ノ旨通知スル日

土地收用法第六條ニ基ツキテ發スル命令ノ件 六十一

第十二條 現役及召集中ノ豫備、後備ノ軍籍ニ在ル下士以下ノ軍人ニ對スル送達ハ其ノ所屬ノ長官又ハ隊長ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十三條 在監人ニ對スル送達ハ其ノ監獄ノ首長ニ之ヲ爲スヘシ

第十四條 送達ハ送達ヲ受クヘキ人ノ現所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得、但シ前項ノ規定ハ送達ヲ受クヘキ人カ其ノ地ニ於テ住所又ハ事務所ヲ有スル場合ニ於テ其ノ受領ヲ拒ミタルトキハ之ヲ適用セズ

第十五條 送達ヲ受クヘキ人其ノ住所、居所又ハ事務所ニ在ラサル時キハ其ノ送達ハ現場ニ在ル成年ノ同居者又ハ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十六條 第一條第二項ノ場合ニ於テ代表者又ハ業務執行者事務所ニ在ラサルトキハ送達ハ現場ニ在ル他ノ役員又ハ成年ノ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十七條 前二項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ送達ハ交付スヘキ書類又其ノ地ノ市町村長ニ預ケ送達ノ告知書ヲ作り之ヲ住所又ハ居所ノ門戸ニ貼付シ且近隣ニ住居スル者二人以上ニ口頭ヲ以テ通知シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十六條 法令上ノ理由ナクシテ送達書類ヲ受領セズ又ハ受領スルコト能ハサルトキハ其書類ヲ送達ノ場所ニ差置クコトヲ得此ノ場合ニ於テハ送達人ハ其書類ノ調書ヲ作ルヘシ

第十七條 書類ノ送達ヲ受領シタル者ハ其ノ場所及年月日時ヲ記載セル受領證ヲ交付スルコトヲ得

第十八條 前項ノ受領證ヲ交付セズ又ハ交付スルコト能ハサルトキ又ハ第十五條第三項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲シタルトキハ送達人ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第十九條 送達ヲ受クヘキ者ノ住所、居所又ハ事務所不明ナルトキハ收用又ハ未使用トキ土地所在ノ市町村長ニ於テ之ヲ公告スヘシ

第二十條 前項ノ場合ニ於テ公告ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタルトキハ送達ヲ爲シタルモ之ヲ看做ス

第二十一條 書類ノ送達ニ關スル規定ハ通知ヲ爲ス場合ニ之ヲ適用スルコトヲ得

第二十二條 訴訟及訴訟提起期間ノ計算法ハ訴訟法行政裁判法及民事訴訟法ノ規定ニ依リテ之ヲ適用スルコトヲ得

土地收用法第六條ニ基ツキテ發スル命令ノ件

六十三

定テ適用ス

第二十一條 書留郵便ニ依リテ爲ス送達ニ付テハ郵便ニ關スル法令ノ規定ヲ適用ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會ニ關

スル件 (明治三十三年三月三十日) 勅令第百一號

朕土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 合同收用審査會ヲ開カムトスルトキハ關係地方長官協議ヲ爲シ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ協議調ハサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第二條 合同收用審査會會長ハ開會地ノ地方長官ヲ以テ之ニ充テ其ノ委員ハ關

係府縣收用審査會委員ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 土地收用法第二十六條乃至第二十九條ニ規定シタル地方長官ノ職權ハ

合同收用審査會ヲ開キタル場合ニ於テハ開會地ノ地方長官之ヲ行フ

第四條 合同收用審査會ノ費用ニシテ府縣ノ負擔スヘキモノノ中高等文官ニ非

ズ委員ノ旅費ハ其ノ所屬府縣ノ負擔トシ其ノ他ハ關係府縣ノ分擔トス

附則 本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●土地收用法第六十九條ニ依リテ發スル命令ノ件

(明治三十三年三月三十日) 勅令第百一號

朕土地收用法第六十九條ニ依リテ發スル命令ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシ

ム

第一條 收用審査會ノ費用中左ニ掲ゲタルモノハ起業者ノ負擔トス

土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會ニ關スル件 六十五

土地收用法第六十九條ニ依リテ發スル命令ノ件

命令  
土地收用法第八十五條第三項ニ基ツキテ發スル  
命令ノ件  
明治三十三年三月三十日  
第六十七

一 鑑定人及事實參考人ノ旅費及手當

二 裁決書謄本ノ調製費

三 郵便便及電信料

四 備入料

五 其ノ他内務大臣ノ指定シタルモノ

第二條 收用審査會ノ費用中收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費ハ所屬官廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨ス

第三條 土地收用法第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第四條 附 命令  
土地收用法第八十五條第三項ニ基ツキテ發スル  
命令ノ件  
明治三十三年三月三十日  
第六十七

命令ノ件 (明治三十三年三月三十日)

除土地收用法第八十五條第三項ニ基ツキテ發スル命令ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ引續キ國有ニ屬スル土地ニ付テハ左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ヲ除クノ外土地收用法第八十五條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

一 公用土地買上規則第四則但書又ハ第八則ノ規定ニ依ラスシテ買上ケタル土地

本ニハ府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ土地收用法施行ノ際現ニ修理保存費ヲ負擔スル土地

三 明治三十三年勅令第三百三十三號第一條ノ規定ニ依リ帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ所有權ヲ取得スルコトヲ得ルキ土地

四 土地收用法第八十五條第三項ニ基ツキテ發スル 命令ノ件

第六十七

四 土地收用法施行前不用ニ歸シタル土地ノ土地

五 土地收用法施行前第三者ニ讓渡スルキ契約ヲ爲シタル土地ノ土地又ハ其

附則

本令ハ明治三十三年四月二日ヨリ之ヲ施行スル事ヲ命ズ

● 鑛業條例

(明治二十三年九月二十五日)

法律第二十號

朕鑛業條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

鑛業條例 第一章 總則 第一條 鑛業トハ鑛物ノ試掘採掘及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ

第二條 鑛物ニ未タ採掘セザルモノハ國ノ所有トス(三十三年法律第七十四號)

此ノ條例ニ於テ鑛物トハ金鑛(砂金ヲ除ク)銀鑛、銅鑛、鉛鑛、銻鑛、鋅鑛、錳

鑛(砂錳ヲ除ク)安質母尼鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛(砂鐵ヲ除ク)硫化鐵

鑛、格魯謨鐵鑛、滿奄鐵鑛、砒鑛、燧鐵、黑鉛、石炭、亞炭、石油、土歴青及

硫黃ヲ謂フ

第三條 帝國臣民又ハ帝國法律ニ從テ設立シタル會社ニ非テハ鑛業人トナラズ

第四條 農商務省鑛山局及鑛山監督署ノ官吏ハ在職中鑛業人トナリ又ハ鑛業ニ

關スル組合員又ハ會社ノ株主若ハ役員トナルコトヲ得ス

第五條 此ノ條例ニ依リ鑛業特許取消ノ處分ヲ受ケタル鑛業人ハ同鑛區ニ付テ

第六條 三人以上共同シテ鑛業ヲ爲ストキハ總代一名ヲ撰定シ豫メ所轄鑛山監

第七條 共同鑛業人ノ變更、採掘權ノ賣買、讓與、書入及廢業屆等ニハ總代ノ

鑛業條例 總則

六十九

外少クモ共同礦業人過半數ノ連署ヲ要ス

第二章 試掘及探掘

第八條 試掘ヲ爲サント欲スル者ハ其ノ願書ニ試掘地ノ圖面ヲ添ヘ所轄礦山監督署長ニ差出シ其ノ認可ヲ受クベシ

第九條 試掘ハ認可ノ日ヨリ一箇年ヲ限トス

第十條 試掘人前項ノ期限内ニ於テ其ノ事業ヲ竣セ難キ事實アリトキハ所轄礦山監督署長ニ延期ヲ出願スルコトヲ得

第十一條 前條ニ依リ礦物ヲ販賣シタルトキハ三十日以内ニ其ノ販賣代價百分

ノ一ヲ所轄礦山監督署ニ納ムベシ

第十二條 試掘ニ依リ採取シタル礦物ハ所轄礦山監督署長ノ認可ヲ得テ之ヲ販賣スルコトヲ得

第十三條 前項ノ金額ヲ其ノ期限内ニ納メサル者ハ國稅滯納處分法ニ依リ處分ス

第十四條 探掘ノ特許ヲ得ント欲スル者ハ探掘願書ニ礦區圖ヲ添ヘ農商務大臣宛ニテ所轄礦山監督署ニ差出スベシ

第十五條 探掘願書及礦區圖ヲ同時ニ差出シ難キトキハ願書ニミテ差出シ置キ礦區圖ハ願書ノ日附ヨリ五十日以内ニ之ヲ差出スコトヲ得此ノ期限内ニ差出ササルト

キハ其ノ出願ヲ無効トス

第十六條 探掘ヲ出願スル者ハ出願地ニ其ノ探掘セントスル礦物ノ存在スルコトヲ證明スベシ

第十七條 礦山監督署長ハ礦物以存存ヲ認定スル爲ニ吏員ヲ實地臨檢ヲ必要ト認ムルトキハ探掘出願人ヲシテ出張吏員ノ爲ニ制規ノ旅費日當ヲ前納セシム

第十八條 探掘出願人前項旅費日當納付ノ通知ヲ受ケ通知書到達ノ日ヨリ十四日以内ニ

前項ノ金額ヲ納メサル者ハ其ノ出願ヲ無効トシ出願書及礦區圖ハ無効トス

第十九條 探掘出願人前項旅費日當納付ノ通知ヲ受ケ通知書到達ノ日ヨリ十四日以内ニ

前項ノ金額ヲ納メサル者ハ其ノ出願ヲ無効トシ出願書及礦區圖ハ無効トス

第二十條 探掘出願人前項旅費日當納付ノ通知ヲ受ケ通知書到達ノ日ヨリ十四日以内ニ

前項ノ金額ヲ納メサル者ハ其ノ出願ヲ無効トシ出願書及礦區圖ハ無効トス

第二十一條 探掘出願人前項旅費日當納付ノ通知ヲ受ケ通知書到達ノ日ヨリ十四日以内ニ

前項ノ金額ヲ納メサル者ハ其ノ出願ヲ無効トシ出願書及礦區圖ハ無効トス

第二十二條 探掘出願人前項旅費日當納付ノ通知ヲ受ケ通知書到達ノ日ヨリ十四日以内ニ

前項ノ金額ヲ納メサル者ハ其ノ出願ヲ無効トシ出願書及礦區圖ハ無効トス

第二十三條 探掘出願人前項旅費日當納付ノ通知ヲ受ケ通知書到達ノ日ヨリ十四日以内ニ

前項ノ金額ヲ納メサル者ハ其ノ出願ヲ無効トシ出願書及礦區圖ハ無効トス

第二十四條 探掘出願人前項旅費日當納付ノ通知ヲ受ケ通知書到達ノ日ヨリ十四日以内ニ

前項ノ金額ヲ納メサル者ハ其ノ出願ヲ無効トシ出願書及礦區圖ハ無効トス

礦業條例 試掘及探掘



第十五條 礦山監督署ニ於テハ試掘及探掘出願登錄ヲ備ヘ置キ出願日時ノ先

後ニ依リ之ヲ登錄スル者ハ其ノ出願書ニ於テハ出願書提出ノ日ヨリ十四日以内ニ

第十六條 試掘又ハ探掘ノ出願同一ノ地ニ付二人以上アルトキハ出願日時ノ先

後ニ依リ其ノ許否ヲ定ムルハ其ノ出願書ニ於テハ出願書提出ノ日ヨリ十四日以内ニ

出願ノ日時同一ナルトキハ礦山監督署長ハ其ノ旨ヲ各出願人ニ通知スルコトヲ各

出願人ニ通知書ノ日附ヨリ六十日以内ニ協議ヲ遂ケ出願人ヲ定ムルコトヲ若シ協

議調停ナルトキハ其ノ出願ヲ無効トスルコトヲ出願書提出ノ日ヨリ十四日以内ニ

出願ノ日時同一ニシテ試掘ト探掘トニ係ルトキハ先ツ探掘ノ出願ニ付其許否

ヲ定ムルコトヲ出願書提出ノ日ヨリ十四日以内ニ定ムルコトヲ出願書提出ノ日ヨリ

第十七條 農商務大臣探掘ノ特許ヲ與フルコトヲ若シハ其ノ出願書提出ノ日ヨリ十四日以内

第十八條 試掘若シハ探掘ノ事業公益ヲ害スル認認アルトキハ試掘ニ就テハ其ノ所轄礦

山監督署長ハ探掘ニ就テハ農商務大臣其ノ出願ヲ許可セザルコトヲ得ル

第十九條 試掘若シハ探掘ノ事業公益ニ害アルトキハ試掘ニ就テハ其ノ所轄礦山監督

署長探掘ニ就テハ農商務大臣既ニ與ヘタル認可若シハ特許ヲ取消スルコトヲ得

礦業人前項取消ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ達ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内

ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但損害ノ賠償ヲ要求スルコトヲ得

第二十條 特許ヲ得タル礦物ノ探掘權ハ賣買ノ讓與又ハ書入ヲ爲スルコトヲ得

探掘權ヲ賣買ノ讓與スルトキハ雙方連署シ所轄礦山監督署ヲ經農商務大臣ニ

出願シ礦業特許證ノ書換ヲ受ケルコトヲ得此ノ手續ニ依ラサル賣買ノ讓與ハ法律上

其ノ效ナキモノトス

探掘權ノ書入ハ雙方連署シ所轄礦山監督署ノ登錄ヲ受ケ合シ其ノ登錄ヲ受ケ

タルモノハ法律上其ノ效ナキモノトス

第二十一條 他人ノ試掘ノ年限中於其ノ試掘地内ニ於テ同一ノ礦物ニ付探掘ノ出

願ヲ爲スルコトヲ得ズ

第二十二條 他人ノ認可ヲ得タル試掘地内ニ於テ其ノ試掘人ノ未ダ認可ヲ得サ

礦業條例 試掘及探掘 七十三

ル礦物ノ試掘又ハ採掘ヲ出願セント欲スル者ハ試掘人ハ承諾ヲ經テ  
 試掘人自ラ試掘又ハ採掘ヲ出願セント欲スル者ハ其ノ認可ヲ得タル礦物ノ  
 試掘ニ妨害アルトキソ外ハ試掘人ハ前項ハ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス  
 第二十三條 他人所屬ノ礦区内ニ於テ其ノ礦業人ノ未タ試掘ノ認可又ハ採掘ノ  
 特許ヲ得サル礦物ニ付試掘若ハ採掘ヲ出願セシム欲スル者ハ礦業人ハ承諾ヲ  
 經ヘシ

礦業人自ラ試掘又ハ採掘ヲ出願セシム欲スル者ハ其ノ試掘又ハ採掘ヲ爲シ  
 礦業ニ妨害アルトキソ外ハ礦業人ハ前項ハ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス  
 第二十四條 宮城、離宮、神宮、皇陵、陸海軍所轄城塞、軍港、要港、火藥製  
 造所、火藥庫及彈藥庫ノ周圍三百間以内ノ場所ハ試掘又ハ採掘若ハ礦業上使  
 用スルニ付得ス但軍港、要港ハ其ノ鎮守府司令長官ヲ許可ヲ得タル場合ニ  
 於テハ此ノ限ニアラス  
 第二十五條 鐵道、馬車鐵道、公道、河川、堤防、沼池、社寺、墓地、公園地

及建物ヨリ地表地下トモ周圍三十間以内ノ場所ニ於テハ所轄官廳若ハ所有者  
 ハ承諾ヲ經ルニアラサレハ試掘又ハ採掘ヲ爲スコトヲ得ス但危險ノ虞ナキニ  
 シテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス  
 第二十六條 礦業人ハ毎年ノ礦業施業案ヲ調製シ其以前年十月三十一日限其ノ初  
 年ニ係ルモノハ採掘特許ノ日ヨリ三箇月以内ニ所轄礦山監督署長ニ差出シ認  
 可ヲ受クヘシ  
 前項ノ施業案ニシテ坑内ノ保安ニ害アル又ハ其ノ礦區ニ相當スル礦業ヲ爲サ  
 サルモノト認メタルトキハ所轄礦山監督署長ハ其ノ理由ヲ礦業人ニ示シ期限  
 ナ定メ之ヲ改正セシムヘシ  
 第二十七條 礦業人ハ所轄礦山監督署長ノ認可ヲ受ケタル礦業施業案ニ依ルニ  
 アラサレハ採掘ヲ爲スコトヲ得ス  
 第二十八條 礦業人礦業施業案又ハ其ノ改正案ヲ期限内ニ差出ササルトキハ農  
 商務大臣ハ其ノ採掘ノ特許ヲ取消スコトヲ得

第二十九條 鐵業人一箇年以上休業シ又ハ採掘ノ特許ヲ得タル日ヨリ一箇年以内ニ鐵業ニ著手セザル事ヲ農商務大臣ニ其ノ特許ヲ取消スルコトヲ得

第三十條 前二條ノ場合ニシテ其ノ自己ノ過失ニ由ラサルモノハ特許取消ノ達ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其ノ理由ヲ農商務大臣ニ申立テ再願ヲ為スコトヲ得若シ農商務大臣ニ於テ之ヲ拒ムトキハ其ノ達ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十一條 鐵業人ハ坑内實測圖三葉ヲ調製シ一葉ハ所轄鐵山監督署ニ差出し一葉ハ鐵業事務所ニ備ヘ置クヘシ

前項坑内實測圖ハ事業ノ進歩ニ從テ六箇月毎ニ追補スルコトヲ得

鐵業人若シ他人ノ所屬ニ係ル隣接鐵區ノ坑内實測圖ニ付證明ヲ必要ト認ムルトキハ之ヲ所轄鐵山監督署長ニ請求スルコトヲ得

所轄鐵山監督署長ニ於テ右證明ヲ爲シ吏員ヲ實地臨檢ヲ必要ト認ムルトキハ鐵業人ヲシテ出張吏員ノ爲ニ制規ヲ旅費日當ヲ前納セシムヘシ

第三十二條 鐵業人鐵業特許證ヲ毀損若ハ亡失シタルトキハ事由ヲ具シ所轄鐵山監督署ヲ經テ再下付ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ

第三十三條 詐偽又ハ錯誤ニ由リ試掘ノ認可ヲ得タルコトヲ發見シタルトキハ所轄鐵山監督署長ハ其ノ認可ヲ取消スヘシ若シ其ノ認可ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ニ於テ之ヲ發見シタルトキハ其ノ關係ヲ有スル者ハ認可ノ日ヨリ三箇月以内ニ試掘認可ヲ取消ヲ所轄鐵山監督署長ニ訴願スルコトヲ得

前項所轄鐵山監督署長ノ判定ニ不服アル者ハ其ノ判定ノ日ヨリ三十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十四條 詐偽又ハ錯誤ニ由リ採掘ノ特許ヲ得タルコトヲ發見シタルトキハ農商務大臣ハ其ノ特許ヲ取消スヘシ若シ其ノ特許ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ニ於テ之ヲ發見シタルトキハ其ノ關係ヲ有スル者ハ特許ノ日ヨリ三十日以内ニ採掘特許ヲ取消ヲ農商務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項農商務大臣ノ裁定ニ不服アル者ハ其ノ裁定ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内

行政裁判所ニ出訴スルニ得ル者ニ其ノ裁定ニ對シテ三十日以内

第三十五條 第三十二條第二項及第三十三條第二項ノ場合ニ於テ理由ナクシテ

承諾ヲ拒ミタルトキハ關係人又第二十五條但書ノ場合ニ於テ危險ノ虞ナクシテ

承諾ヲ拒ミタルトキハ礦業人ハ所轄鑛山監督署長ノ判定ヲ請求スルコトヲ

得ル

第三十六條 前條ノ判定ニ不服スル者ハ其ノ判定ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内

農商務大臣ノ裁定ヲ請求スルニ得ル者ニ其ノ裁定ニ對シテ三十日以内

第三十七條 礦業人廢業シタル時其ノ旨ヲ所轄鑛山監督署ニ届出テ礦業特

許證ヲ返納スルニ得ル者ニ其ノ旨ヲ所轄鑛山監督署ニ届出テ礦業特

第三十八條 第十九條第二十八條第二十九條第三十四條第四十三條及第七十六

條ニ依リ農商務大臣ニ於テ採掘ノ特許ヲ取消シ又ハ第三十七條ニ依リ廢業人

届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ特許ヲ得タル礦物ノ採掘權ニ對シ抵當權ヲ

有スル債主ハ其ノ抵當權ヲ失フモ以テ但第十九條及第三十四條ノ場合ヲ除

ク外債主ニ於テ六十日以内ニ其ノ礦區ノ採掘ヲ願出ルトキハ出願ノ先後ニ

拘ハラズ特許ヲ與フヘシ

第三十九條 礦業人ハ毎年一月前年ニ採取シタル礦物ノ量數、製產物、其ノ販

賣高、販賣代價、行業日數及工數ヲ所轄鑛山監督署ニ届出ツヘシ

第四十條 礦業人ハ農商務大臣定ムル所ノ書式ニ依リ帳簿ヲ調製シ製產物ノ量

數及販賣代價等ヲ記載スヘシ

第三章 礦區

第四十一條 礦區トハ礦物ノ採掘ヲ爲ス土地區域ヲ謂フ

礦區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定メ地表境界線ノ直下ヲ限トス其ノ一礦區ノ面

積ハ石炭ハ一萬坪以上其ノ他ノ礦物ハ三千坪以上トシ共ニ六十萬坪ヲ超ユル

コトヲ得ズ

第四十二條 出願ニ係ル礦區ノ位置形狀、鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損ス

ルコトモノト認メタルトキハ所轄鑛山監督署長ハ之ヲ出願人ニ通知シ訂正セシ

鑛業條例 鑛區